新京日日新聞
夕刊 九月二十日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話（編輯局專用③三二三五・營業局專用③三三〇〇）
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

愈よ南京の徹底的爆撃敢行

長谷川司令長官 外國人の避難を勸告

廿一日正午以後艦船航行にも注意

【上海廿日發國通】第〇艦隊司令長官長谷川中將は十九日附をもつて列國外交機關に對し南京は支那の軍略中心なりとの理由をもつて廿一日正午以後爆撃を敢行すべく、それ以前に各國居留民を安全地帶に避難せしめ、外國艦船は下關上流に碇泊するやう勸告するところあつた

十九日午前中に敵機廿六を撃墜

【上海十九日發國通】艦隊報道部午後三時廿五分發表 十九日午前九時南京を空襲せるわが海軍航空隊は敵飛行場その他に大損害を與へ敵機廿六機撃墜せり、わが軍の損害は未だ歸還せざるもの三機にしてその他は全部無事歸還せり

【上海十九日發國通】十九日午前九時南京上空における未曾有の空中戰において我が海軍機に撃墜された敵カーチス・フォークおよびブレー〆戰鬪機は總計廿六機なること確實となつた、世界空中戰史上空前の大捷である

十九日午後敵六機を撃墜

【上海二十日發國通】その後判明したところによれば、十九日午後の南京上空の空中戰でわが軍の撃破した敵機は六機と確認された

南京市民注視の空で 支那機大殲滅戰

南京政府の空宣傳も無駄

【上海廿日發國通】海軍〇〇航空隊は十九日午前の空爆に凱歌をあげる暇もなく更に午後四時和田部隊長の率ひる〇〇機は

勇躍

銀翼を連ねて南京を空襲敵は前の猛攻に怯えたか飛びかゝつて來た敵機は七、八機に過ぎなかつたが忽ち壯烈な空中戰が支那民衆注視の頭上において展開された、激戰數合わが軍は手練の攻撃法で見事敵數機を射落した後對地攻撃に移り、地上の軍事的目標に的確なる爆撃を決行、敵陣からは最早追ひ來たるものもなく大混亂を外に歸還の途についた かくて十九日午前、午後の二回にわたる歴史的南京空襲により首都を中心とする附近の敵空軍は文字通りの潰滅的打撃をうけたが、これにもまして今次のわが空襲は支那民衆の目前で展開されたものであるため如何に南京政府が全線にわたる支那軍の勝利を宣傳しようともこの眼前の敗戰ぶりには

隱蔽

するに由なく、支那人の精神的打撃は恐らく想像以上のものがあるであらう

十河興中社長 病氣靜養に歸國

【天津十九日發國通】久しく病氣中の興中公司社長十河信二氏は東京で加療のため十九日朝天津丸にて大連に向つた同氏は廿三日同地發の熱河丸で歸國の筈

人道を無視し毒瓦斯を使用

敗殘窮餘の支那軍の暴擧

【上海十九日發國通至急報】連日に亙る皇軍將士の奮戰力鬪相次ぎ敗殘を重ね士氣全く喪失せる支那軍は、窮餘の一策として毒瓦斯の使用を企圖せるもの〃如く、去る十七日午後四時頃〇〇前線部隊の淺間部隊が淑里橋東方五十米の地點で激戰中、敵の射ち出せる一彈は黑色を交へた異樣な黃煙を放出し、戰鬪中の我兵二、三名は激しき眩に襲はれた旨同部隊より十九日〇〇本隊に報告があつた、よつて同部隊では問題の砲彈の破片を拾ひあつめ〇〇〇部に送り精密な化學的調査を開始した

支那軍は平漢線良鄉から退却に際し井戸水に病菌、毒藥を投入せる事實もある 南京政府の容共人民戰線派の釋放以來共產黨の上海における暗躍旺んとなり、外國の租界拋棄を餘儀なくせしめんと目論みつゝあり

二十日朝までの支那各地戰況

▲平綏線方面 十九日拂曉わが空軍は敵の新鋭重爆機ならびに戰鬪機隊と遭遇、これを一擧に撃墜しさらに太原を空襲、敵空軍根據地を覆滅した、この日同方面で敵の失つた飛行機は合計十五臺に上る
▲平漢、津浦兩線方面 涿州平野に壯烈な大會戰を展開したわが皇軍は十九日遂に定興、臥虎山の線に進出、易州城を占據、さらに西南方に向け進撃を續け、保定を去る僅か十里餘の地點に達し全軍意氣軒昂、敵を潰滅中
▲上海方面 海軍航空隊は十九日午前、午後の二回にわたり長驅南京を衝き、敵機卅二臺を撃墜、世界稀なる輝かしい戰鬪記錄を作り、首都を阿鼻叫喚大混亂に陷れた、なほ金家灣、王丸房を占據した田上、石井部隊は陸家橋、周家宅の敵に對し進撃中

寶山縣に自治委員會

【上海十九日發國通】十九日午後六時軍報道部發表 九月六日鷹森部隊の占領せる寶山縣城には住民約五百名殘留しありしを以て、同部隊は取敢ずこれを保護して糧食を與へて救恤せり 十二日宮崎部隊の一部縣城に入り鷹森部隊た引續き宣撫を實施し、同地住民は寶山附近戰鬪開始以來支那軍の暴虐と戰禍の渦中にありて恐怖の極に陷つてゐたが皇軍の入城するに及んでその慈愛の篤きに感激し直ちに自治委員會を組織し皇軍を信賴して安堵の日を送りつゝあり

上海紡績 敵彈に破壞さる

【上海十九日發國通】十八日夜襲來の敵飛行機は楊樹浦方面に爆彈數個を投下したが、そのうち一彈は上海紡績第一工場に落下、同所の倉庫ならびに製紡室の一部を破壞したことが判明した、損害七、八十萬圓とみられてゐる

支那奧地の米國居留民 十九日引揚ぐ

【〇〇基地にて十九日發國通】支那奧地居留米國人は十九日米國軍艦で海州より引揚げを決行した、帝國海軍は米國居留民引揚げに對し海上の萬全を期するためわが〇〇艦隊空軍は海州方面の支那兵に對し警戒を嚴にし引揚げに便宜を與へた

敵の七機を撃墜

【大同十九日發國通至急報】〇〇軍十九日午前十一時發表 〇〇軍空爆隊は十九日拂曉敵の新鋭重爆、戰鬪兩隊の七機を一擧に撃墜して太原方面の敵飛行隊を撃滅した、わが方の損害は皆無

戰鬪詳報

【大同十九日發國通】〇〇部隊十九日午前十一時發表＝廣瀨、赤木兩部隊長の指揮する〇〇編隊戰鬪機〇機は十九日午前六時四十五分長城線を越えて大同へ襲來せんとした支那爆撃機九機を懷仁縣城（大同南方卅六キロ）に邀撃し猛烈なる空中戰を演じ午前七時廿五分見事に敵機三機を撃墜、さらに逃走する敵六機を追撃して太原上空に追ひつめた、敵は戰鬪機を增しわれに四倍する精鋭をもつて太原上空眞只中で彼我の空軍入り亂れて壯烈なる空中戰を展開し、さらに敵爆撃機二機を撃墜し四散する敵を追ひつめて太原飛行場に至り折柄離陸せんとする敵の精鋭ボーイング戰鬪機二機をも撃破し敵機を一掃して午前九時半太原の制空權を完全に把握し敵地上部隊の撃ち出す砲彈をものともせず荒鷲の如く太原上空を（午前十一時四十分）悠々旋回中、今次の戰鬪におけるわが軍の損傷皆無なり

易州城を占領

【北平十九日發國通】支那駐屯軍司令部十九日午後八時十五分發表＝わが第一線部隊は十九日午後五時半易州城に入城した

興和を占領

【大同廿日發國通】〇〇軍十九日午後九時發表＝十九日午前十時半川村部隊は蒙古高原の要衝たる興和の敵を撃破して完全に同地を占領せり

平漢線涿州まで完全に占據す

破壞鐵路の修理を急ぐ

【北平廿日發國通】わが〇〇部隊の涿州占領に引續いて〇〇部隊は十八日正午頃平漢線を南下涿州に入らんとしたが南北琉璃河の兩鐵橋は退却中の敵のため破壞され、さらに兩鐵橋間の線路約四キロは敵が堰止めた河水の氾濫で水浸しとなつてゐるのを發見、裝甲列車を北琉璃河鐵橋に乘捨てゝ水浸しの線路上を進み敵の裝甲列車を奪取南下した、かくて午後四時漸く涿州に到着した、この〇〇部隊が涿州驛に進入の際貨車から支那兵が武器多數を降してゐるのを發見、直ちにこれに攻撃を加へ彈藥、武器、小銃等を滿載せる貨車一輛を押收殊勳を樹てた、かくて涿州までの平漢線鐵道は完全にわが〇〇部隊の占據するところとなり目下破壞箇所の修理を急いでゐるや間もなくそれとは知らぬ敵の裝甲列車が將兵を滿載して南下して來たが我軍はこれに猛射をあびせつひに逆行せしめた

平漢線々路占據

【北平十九日發國通】十六日わが〇〇部隊は連日の疲勞を物ともせず一氣に敵を追撃し高村鎭南方に三つの橋を架けて拒馬河を渡り午後二時より敵の抵抗を排しつゝ前進したその際我軍は野間地、黑田兩部隊長の率ゐる挺身隊を組織せしめ、十七日未明を期し俄然前進、平漢線を目前に見る地點まで進出し、一擧に線路まで進まんとしたが、敵は頑強に線路を守つて抵抗を續けるので挺身隊は涿州南方十キロ竇桑舖から我が砲兵部隊の掩護射撃をうけて遂に平漢線々路占據に成功、更に南方松林店の北方地區を遮斷し所期の目的を達し凱歌をあげたこの戰鬪においてわが五十嵐砲兵大尉は自ら前線に立つて奮戰、頑強な敵の抵抗に「何を小癪な」とばかり挺身隊を率ひ勇猛なる突撃を試み遂に線路地區の奪取に成功したが不幸にも敵彈のため壯烈な戰死をとげた、五十嵐大尉の奮戰のため我軍はドッとばかりに同地區を突破し完全に敵の死命を制することを得た、挺身隊が平漢線突破に成功する

大同に治安維持會

【大同廿日發國通】大同地方自治恢復ならびに住民の福利增進を目的とする大同地方治安維持會は十九日午前十一時より商務會において成立を見た、委員長に馬永魁氏、副委員長に古稀堯氏、わが顧問二名、委員四名を決定、地方行政官廳と政務、治安、民政、財政の四股に分れ事務を分擔全面的に政務一切を代行することになつた

支那の國際法規蹂躪 枚擧に遑なし

【東京國通】上海方面におけるわが當局の調査によれば、支那側の國際法規無視蹂躪は枚擧に遑ないが、その二、三の例を擧げれば左の如くである
▲日本國旗の僭用 七月十三日津浦線靜海上空で日の丸を畫ける敵戰鬪機を認む 八月廿八日日の丸を畫ける敵飛行機三機揚子江上のわが艦船を爆撃せり 八月廿九日吳淞方面の敵は日の丸を掲げ友軍と信じて近接せるわが軍を不意討す
▲第三國國旗の僭用 上海附近で支那側は支那人所有工場建物に第三國國旗特に英國旗を揭揚しこれを據點としてわが軍を射撃せる例は閘北江灣方面では枚擧に遑なし 支那軍はカセイ・ホテル、佛租界に盲爆撃をなすのみならず、國際協定に禁じてゐる病院船に對する射撃度重なり、わが病院船朝日丸は吳淞砲臺より砲撃を受け看護兵三名負傷せり、病院船亞米利加丸も浦東より射撃を受けた、その他上海、北支においても支那側はダムダム彈を使用し、負傷者の身體內よりぬき出されるもの多數ある 最近支那は歐洲方面より多數の化學兵器材料ならびに防毒具を購入し、近く化學兵器使用の企圖なりと思はれる

大村副總裁來京

滿鐵副總裁大村卓一氏は二十日午前八時十分着列車で來京理事公館に入つた

人事往來

着京
▲荒木秀雄氏（會社員）十九日來京ヤマトホテル ▲沖田梅助氏（同）同 ▲有富光門氏（同）同 ▲今井重太郎氏（同）同 ▲玉井純氏（滿鐵）同 ▲田邊敏行氏（農業）同 ▲高木陸郎氏（中日實業副總裁）同 ▲荒井逸造氏（官吏）同 ▲奧野榮一氏（會社員）同 ▲小原恒雄氏（同）同 ▲飯田久一郎氏（同）同 ▲高津豐久氏（北滿製糖）同國都ホテル ▲川西豐藏氏（錦州領事）同 ▲小越雅之氏（官吏）同 ▲泉山吉郎氏（王子製紙）同 ▲西山千賀夫氏（日滿パルプ）同 ▲中井明夫氏（圖們パルプ）同 ▲伴平太郎氏（北海道採炭）同 ▲中澤規矩夫氏（大倉商事）同 ▲山東實氏（大日本ビール）同 ▲大石義生氏（官吏）同向陽ホテル ▲安藤文男氏（會社員）同 ▲小林雅夫氏（會社員）同 ▲森岡正平氏（奉天總領事）同 ▲森田敏郎氏（會社員）同 ▲山內猶二氏（元新京地方事務所地方係長）同國際ホテル ▲加藤定則氏（會社員）同 ▲平岡敬道氏（協和會）同 ▲正橋治七郎氏（官吏）同 ▲收一男氏（同）同蓬萊ホテル ▲木內利助氏（商業）同 ▲中島右仲氏（同）同 ▲千葉仁人氏（同）同 ▲森藤重高氏（同）同富士屋 ▲川越戶郎氏（滿鐵）同

その日く

□ひと月前、八月二十日にはわが飛行機は廣德、九江を爆撃したのだつた
□いま北支、中支、ともに戰線著しく進出したのを見、時の推移と狀況の變化を知る
□廣東から上海へ、昔は革命思想を運び今は武器を運ぶといふ
□上海に燒夷彈を投じたりして、中秋の氣分でも出す積りだつたのか
□秋爽かに彼岸に入る、ただ支那のみは容易に覺醒の彼岸に達しさうも無く

ペスト各地に猖獗

農安縣二青山に突如新患者發生

新京からは三十邦里の地點 連絡路通行止實施か

當局必死の防疫陣にも拘らず全滿に於けるペストは益々猖獗の傾向にあるが二十日朝九時首都警察廳衛生科では突如農安縣西端伏隆泉の三十支里北方二青山に突如十一名の疑似ペスト患者發生したとの報に接した、二青山は新京を去る僅か三十邦里の地點にあり忽ち國都がペストの危險に曝されるので同衛生科では俄然色めきたち應急處置を協議中であるが、二青山から伏隆泉に出て双城堡或は農安を經て新京に到る道路に取り敢へず監視所を設けて通行人の檢査或は同地域からの通行止を實施する樣になるのではないかとみられてゐる

京白沿線ペスト漸次國都に迫る

民生部防疫に萬全

全滿のペストは秋冷の季に入り一時下火となつた如く見えたが廿日に至り又も京白線コロラス前旗十家子に六名(五名死亡、一名現患)農安縣二青山屯十一名(十名死亡、一名現患)のペスト患者發生、漸次國都新京に迫りつゝあるため民生部保健司ではペストの國都侵入を徹底的に防止するため從來の京白線乘客制限區域、舍力驛―哈拉海間を新京の次驛小合隆まで擴大し十九日から同線列車内に檢疫醫を乘車せしめ乘客の檢疫をなさしめ防疫に萬全を期することゝなつた、なほ二十日現在の全滿ペスト患者發生數は百九十八人である

健康生活鼓吹脚本

當選作發表

滿洲結核豫防協會募集の映畫「滿洲健康生活鼓吹」の脚本は八月十日締切つたが、このほど一次豫選を通過した七十二篇(日文七十篇、滿文二篇)を嚴密に審査の結果、二十日審査を終了し當選者を左の如く發表した

△二等當選

「太陽と共に」 撫順 米津午郎

「健康の設計」 新京 多木羊二

△三等當選

「明けゆく平原」 哈爾濱 佐藤光

「村の教師」 東京 石守路

「健康報國」 大連 金丸精哉

「黎明」 京都 白藤六郎

入賞佳作

「健康滿洲國」(東京)櫻井文二、「開拓者」(大連)戸須盟二、「健康ある所繁榮あり」(哈爾濱)三留市兵衛、「大地のゝぞみ」(新京)畑功三、「光は東から」(大連)水島十二、「生くる勝利」(撫順)竹内節夫、「新生」(大連)城下嘉三治、「曉の凱歌」(奉天)小日向和夫、「喜びー」(大連)村田正義、「太陽の下に」(吉林)中川雪子、「健かならでは」(大連)海老原秋涙、「健康新路」(滿文)(新京)吳愛青

市民陸上競技大會 愈よ廿三日擧行

各種競技時間決定

本シーズンの掉尾を飾る新京體育聯盟主催市民陸上競技大會は二十三日午後二時から新京西公園滿鐵運動場で擧行されるが出場選手實に百八十餘名に上る盛況である、當日の各種競技の時間は左の如く決定した

▲トラック

▲千五百米豫選午後二時▲女子百米豫選二時十分▲二百米決勝二時十分▲百米決勝二時三十分▲八百米決勝二時四十分▲百十米ハードル決勝二時五十分▲百米決勝三時▲千六百米リレー決勝三時五分▲五千米決勝三時十分▲二百米決勝三時三十分▲四百米決勝三時四十分▲四百米リレー決勝四時

▲フキルド

▲走巾跳▲砲丸投決勝二時▲槍投二時三十分▲圓盤投二時十分▲棒高跳二時三十分▲女子走高跳三時▲三段跳三時三十分▲砲丸投三時三十分

けふ彼岸の入り

彼岸入りのけふ、各寺院に掲げた旗は和かな秋風にそよぎどこのお寺も朝から彼岸詣りの善男善女の足繁く、午後は彼岸入り法會で各寺院とも賑つてゐた【寫眞は高野山金剛寺の飾り】

軍犬訓練競技 入賞犬決定

滿洲軍用犬協會新京支部主催第一回訓練競技會は十九日新京大同公園で開催されたが第一回の訓練競技としては豫期以上の好績を收めて終了した

審査の結果

▲一等ゲリー號(成犬牡)戸田龜雄、▲二等サリー號(成犬牝)平井淸、▲三等メリー號、吉谷茂

の三頭が入賞した、なほ支部長盃、訓練所長盃は品評會競技會とも一等入賞の戸田龜雄氏所有ゲリー號が獲得した

女性慰問使 齋藤孃出發

淸水布教師も同時に

始めての女性皇軍慰問使として新京大同佛教總會滿洲本部から北支へ派遣される齋藤ハナ子孃は西本願寺從軍布教師淸水祐之師に伴はれ多數大同佛教會員に見送られて十九日午後九時五十分發列車で、皇軍へ宛てたメッセージや懷中しるこの慰問品、慰問金を携へて出發した、日章旗と會旗をかざした同孃は語る

二萬餘の滿洲國の信徒を代表してこれから北支に活躍していたゞいてゐる日本國兵隊さんを慰め、感謝の辭を述べるため行つて參ります、大體慰問日程は二週間前後の豫定であります

なほ從軍僧淸水師は語る

私は前回の延長で引續いて第一線兵士へ布敎の目的で參りますがかへりは十二月になるか來春になるか見當つきません、一人でも多くの兵隊さん方に說教してすさみ勝ちの勇士の心を和げて佛のやうな氣持で戰場に送り得たら私等の勤めは遂げられるのです

鄉軍第二分會 補充兵役召集

在鄉軍人會新京聯合分會第二分會では二十一日午前六時に補充兵役の召集を忠靈塔前で

野球に庭球に スポーツの秋酣

熱戰にファン湧く

健康の秋スポーツ禮讚、本社が奬勵主催する準硬球野球大會並にハンデキヤツプトーナメントは十九日西公園球場並に中銀コートに於てそれぞれ午前九時、十時より盛大に擧行された日曜、中秋節、晴と三拍子そろつた好調に日滿人觀衆續々繰り出し選手も應援團の歡聲に活氣づき銃後青年の意氣と餘裕を遺憾なく發揮し熱戰を展開した

野球

天狗勝つ 對MSK 8A—5

MSK對天狗戰は十九日午後一時四十五分より西公園球場に於て大辻(球)津田、廉田科部(壘)四氏審判のもとにMSKの先攻で開始された、天狗勝頭より橋本の左翼左二壘打井出の一二間安打と活氣を見せ則生の三箇で一點を先取二回四回とぢり〳〵得點しMSK陣容を入れかへ挽回に躍起となり七、八回に五點を取り戻したが天狗の走者よく盜壘に成功進壘五、七、八回に一、三、一點を加へ八A對五で大勝したスコア

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
天狗	1	2	0	0	1	0	3	1	A	8A
MSK	0	0	0	0	0	0	1	4	0	5

メンバー

天狗 MSK

本出 合川 生田 木口 本山 / 橋井 務森 則仁 佐井 木森 朝 / 遊中 投三 左中 補 投一 一二 左左 右 / 湖氏 口川 下江 村野 田口 田 / 江金 谷西 山入 若工 山谷 沼 / 二三 投捕 遊左 一右 打中 打

庭球

ハンデーと云ふ有利な武器に弱者よく強豪を突き各試合共接戰續きで觀衆手に汗を握り興味百倍した

シングル

小佐々(產) 6—1 4—6 6—4 平田(大)

増田(中) 9—7 6—8 10—12 大竹(產)

佐賀(三) 6—8 6—4 4—6 中下(大)

片山(中) 6—4 6—4 4—6 隠岐(經)

李(大同) 10—8 6—4 内園(大)

馮(大同)(元濤) 6—2 6—3 馮(大同)(積勳)

石橋(中) 6—8 7—5 6—1 李(大同)

江口(大) 6—2 6—3 窪野(國)

中下(大) 6—3 4—6 6—4 片山(中)

小佐々(產) 9—0 6—3 商(大同)

田口(興) 4—6 0—6 大竹(產)

國友(中) 2—6 7—9 王(大同)(子常)

山路(水) 6—4 6—2 細井(中)

國婦治安部に獻金

國防婦女會では事變發生以來銃後の護りに活躍し曩に關東軍に恤兵慰問金を獻金したが更に七百九十一圓三十二錢を醵金して廿日新京支部李支部長、皆川、金副支部長が治安部を訪れ海田次長に手交した【寫眞は獻金する婦女會幹部】

替玉の聲樂家 歌つて尻尾出す

昨夜朝鮮人慰安獨唱會大騷ぎ

在京朝鮮人慰安の名目で入場料五十錢を徵收して十九日午後八時より記念公會堂で開催した聲樂獨唱大會は開演約一時間後聲樂家李東石の出演に到つて期待を裏切る下手な獨唱に觀衆席より〃僞者だ〃と野次が飛び場內騷然と演奏會は滅茶々々となり臨監の警察官が取調べたところ左の如き事情が判明した、この演奏會は特別市淸眞寺同胡同一六一九號金一權願出により當局の認可を受けてゐるが實は新京放送局員姜宰馨(二八)の計畫なるもので姜は同胞慰問の美名に一儲けをたくらみかつて牛島の有名な聲樂家李東伯の弟子であつた藝名李東石こと現懷德縣公署勤務李宗伯氏=假名=と公主嶺榮町朝鮮料理店牡丹樓抱酌婦英子こと趙採玉を聲樂家として演出せしめたが李東石の意外に下手な獨唱ぶりに李東伯を知る觀衆が承知せず俄然騷ぎたて事情調査となつたもので目下新京署司法係に於て關係者を取調中であるが、出演者李宗伯は官吏の身で不都合とあつて始末書を、牡丹樓抱酌婦趙採玉は無許可外泊で處罰される模樣である

實施し、召集人員調査の後、東方遙拜、忠靈塔參拜、分會長の挨拶、終つてさきに陸海軍次官の發せる「鄉軍の覺悟」を副會長が代讀し、隊伍を組んで新京神社に到り皇軍の武運長久を祈願して同七時に解散の豫定である、該當者は一人殘らず參加されたいと

墓地から銃彈

首都警察廳古賀巡官が十九日午後三時頃或る聞込みから村民八名と共に長春縣北新甲謝家店東北方約一キロの附近にある墓地を發掘してみると油紙に包んだモーゼル一號二、三八式騎銃二、小銃彈二五〇發を發見本廳に引上げた、右は匪首天一が埋藏したものらしく二ケ年間も經過したものである

八島小學校 第一回慰靈祭

八島小學校では二十二日午後一時半から同校創立以來物故せる兒童、卒業生、職員など十數名の第一回慰靈祭を催す

フルマラソン コース決定す

申込は民生部陸上競技會へ

滿洲國陸上競技協會主催のフルマラソンは既報の通り十月三日擧行されるがマラソンは東洋民族の特技とまで云はれる競技である上にフルマラソンは滿洲嚆矢の催しとて多大の期待を以て待たれて居る、主催者側では二十日コースの實地調査を行ひ左の如く決定した

出發 十月三日午後二時 忠靈塔前

コース 忠靈塔前―吉林街道折り返し二十六哩四分の一

希望者は民生部內陸上競技協會宛三十日迄に申し込まれたい

協和會分會の對抗リレー 廿六日擧行

秋季國都運動界の年中行事として待たれて居る協和會分會の對抗リレー大會は滿洲國陸上競技協會の主催で來る二十六日午前十時より西公園競技場に於て擧行される、本年の參加は十六分會で二十二日午後四時半より協和會首都本部で主將會議を開きプログラムを決定する

中學校野外教練

新京中學校生徒七百餘名は二

新京靑年學校の慰安の夕べ

新京靑年學校慰安の夕べは二十二日午後七時から新京商業學校講堂で開催、尺八演奏、新京詩吟會の詩吟、田邊正守氏の劍舞、京商ブラスバンドの吹奏、映畫等がある

十日午前九時から野外教練を實施しながら南嶺に赴き戰跡を弔つて午後三時半歸校した

鳥獸保護法講習會

二十日から向ふ六日間開催される產業部林野局主催の鳥獸保護法講習會第一日は二十日午前九時から產業部會議室に於て本部並びに地方林務署代表者多數參列して開催された

故奧野水兵遺骨淸京

上海附近の戰鬪で戰死した北海道出身故奧野二等水兵の遺骨は二十日午後一時二十分着列車で義姉に護られて新京に到着した

本多農林課長

拓務省拓務局農林課長本多保太郎氏一行は二十一日午後六時二十分着あじあで來京、二十三日午後六時三十分のあじあで哈爾濱に向ふ豫定

あす(九月廿一日)

▲公主嶺農事試驗場二十五周年記念式、午前十一時

▲本社主催ハーデトーナメント庭球第四日、中銀コート

▲臨時種痘施行、正午―午後四時、新發市派出所

今晩の主なる演藝放送

▲八・〇〇謠曲(東京)觀世左近外▲八・三五箏曲「菊水」(東京)山勢松韻外▲八・五五義太夫「義士銘々傳」赤垣源藏出立之段(大阪)竹本錣太夫外

ニュース館續出 製作統制實施か

興行界の寵兒となつたニュース映畫劇場は東京、大阪、京都、神戸、名古屋等の大都市は勿論の事金澤、岡山、佐世保、高松、岐阜各地にも續出遂に五十館を突破するに至つたニュース映畫の流行に伴ひこれが製作統制も實行される氣運が濃厚である即ちニュース映畫はその名の示す如く一刻も早くこれを上映することに價値があり他の娯樂映畫の如く一定の配給系統を順次流れて行つたのではニュースとしての價値がないのでプリントの數を多くせねばならないのであるが生フイルムの價格が益々高く且つその供給が圓滑を缺ぐ懼れある現在、プリントを無限に作る事は出來ずさりとて少ないプリントでは給配出來ないと云ふ譯だ製作業者が製作戰線を統一し製作費節減を行ふ傍、配給上映兩社にだても無用な競爭を避け同戰線に依つて映畫料の負擔輕減を行ふ事が急務といふべきでニュース映畫製作統制案は文化映畫強制上映法と共に當然制定されるものとみられよう

試みに檢閲に申請さるゝニュース映畫な一日に何米位あるか――大日本活動寫眞協會調査によると一日千九百五十七本の多きに達する場合もあり、一本を平均二百五十米とすれば總計四十八萬九千二百五十米で富士山の約百三十倍に相當するから驚くではないか

秋の各社洋畫封切陣

△ユナイト映畫「鎧なき騎士」コルダ作品マルレーネ・デイトリツヒ主演「歴史は夜作られる」ウエンヂヤー作品ジーン・アーサー、シヤルル・ボワイエ主演「大自然の凱歌」ゴールドキン作品「血に笑ふ男」アン・ハーデイング主演「孔雀夫人」ウキリアム・ウイラー監督「スタア誕生」ジヤネツト・ゲーナア主演

△パラマウント映畫「海の鬼」ゲイリイ・クーパー、ジヨージ・ラフト、フランセス・デイ主演「たくましき男」アイリン・ダン主演「パリで逢つた彼」クローデツト・コルベール主演「月を消しましよう」ルイズ・ラツグルス主演

△フオツクス映畫「滕」パンジヨー・ジヨン・クロムウエル監督「第七天國」ヘンリー・キング監督「闇の狂人」ボリス・カーロフ主演

△ワーナー映畫「山の法律」ジヨージ・ブレント主演「僞物紳士」ジエームス・ギヤグニー主演「緑の牧場」マーク・コネリイ・カイリー共同監督「夜間裁判」アンヴオーザーク主演△「唄ふ陸戦隊」デイツク・パウエル主演「高壓線」パツト・オブライエン主演

△ユニヴアーサル映畫「ホノルル航空隊」ヘンリイ・ボツタア監督「オーケストラの女」デイアナ・ダアビン主演「巴里の大評判」ダニエル・ダリユウ渡米第一回作「その後に來るもの」ジヨン・キング主演

△エムパイヤ商事「戀愛交叉點」ダニエル・ダリユウ主演「嗤ふ假面」伊太利ネグロ映畫フエルナンド・ロヂオリイ監督「微笑む人生」佛ヤルキ映畫モーリス・シユヴアリエ主演

△三映社「生けるパスカル」佛ゼネラル作品ピエール・シユナール監督「南十字星は招く」橫濱シネマ製作

△三和商事「キングソロモン」GB映畫ロバート・スチブンソン監督「君と踊れば」GB映畫ジエージ・マシユーズ主演

△國光映畫「支配者」トービス映畫エミール・ヤニングス主演「ブブーグの大學生」トービス映畫アドルフ・ウオールブリユツク主演「空中劇場」ハンス・Hツアーレツト監督「?」アドルフウオルブルユツク主演

▽曠原の魂▽ 日活作品、稻垣浩が日活入社第一回作品として監督する作品で、飯沼成治の原作を得て自ら脚色に當つたものである、主演者は片岡千惠藏と轟夕起子、群雄割據の戰國時代末期を背景に信州路美ヶ原の大曠原を背景に繰り展げられる復讐と悲戀の物語を綴つて天涯孤獨豪膽奔放な青年武士の活躍が描かれる、瀬川路三郎、原健作、尾上桃華、香川良介、尾上華丈、志村喬、林誠之助、山本嘉一等が助演、石本秀雄のキヤメラ、新京キネマ廿三日封切

さぼてん

二三八(ふみや)の直美クンに告ぐ、君はよき心の持主であるかも知れぬが少し軽率に過ぎた、仙人掌とも知らずに仙人掌をコキ下してゐた、口は愼しんで貰ひたいものだ▼銀座會館のケイ子クン、最近めつきり憂欝になつてゐるが「親には早く別れ、いとし兒まで死んでこの世でほんとの一人ぽつちになつたのよ」とつばめでも欲しそうな口ぶりであつた▼こゝの照子のサービスのよさは銀座時代にましてお上品になつてファンをなやましてゐる▼康德會館に新設された文祥堂喫茶部は「せまい乍らも樂しい吾が家……」で會館内のオフイスに勤めるサラリーマン達に好評を得てゐるがこゝの喫茶ガール三人はとても商賣に熱心で夜になるゝ連れ立つて明治、不二家喫茶店の客となつてサービスの研究をしてゐる、經營者の希望か、彼女達の熱心に依るものかどうかは知らぬが頼もしい心掛けではある

雜音

新京キネマけふから寫眞替り、「緑の地平線大會」と「あばれ獅子大會」再映ものながら大會を二つ並べた量的なところが喜ばれやう▼續いて廿三日からは千惠藏の「曠原の魂」と「背廣の王者」などが揚る▼この頃になると各館とも仲々に賑々かとなつて來る、豐劇け「未完成交響樂」と「會議は踊る」の新版二本、帝都は「我等の仲間」「空駈ける戀」など季節らしい力量のあるものが並ぶ

火曜	舊九
辛亥	八月
赤口	十七
滿	日
尾宿	廿一日

●一白の人 一時の安樂を思ひて將來を危ふする事勿れ 坤と庚と辛が吉
●二黒の人 晝の暑さを厭はず勵め夕べ涼しき時もある 甲と亥と任が吉
●三碧の人 せかず急がず緩々歩め峠越ゆるも目の當り 庚と辛と寅が吉
●四緑の人 見榮を飾らず實利を思へ飯食に注意すべし 丙と辛と寅が吉
●五黄の人 苦勞を忍びて勵めば陰暗の氣も自から散ず 甲と亥と癸が吉
●六白の人 焦りて失敗を招かんより著實を旨とし安全 甲と丁と亥が吉
●七赤の人 勢盛なれども之に乘じて妄進せば不利の日 丁と壬と癸が吉
●八白の人 甘言を以て誘はるゝも心を動かす可らずと 亥と壬と癸が吉
●九紫の人 我慾に耽らば身は立たず人の爲に盡すべし 丙と酉と辛が吉

開店壹周年記念大賣出

融資團の援助で 滿炭の增資有望

倍額一億六千萬圓へ諒解濟み

【東京國通】滿炭では既報の如くシンジケート團結成を見シンジケート團との間に五ケ年間五千五百萬圓の社債發行を決定し、差當り本年度中に二千萬圓前貸金の融資を仰ぎ來年度以降毎年一千萬圓宛ならびに最終年度二千五百萬圓の起債をなすことゝなつたが滿洲における石炭增產の急務なるに鑑み、これが所要資金として右社債の外に本年ならびに來年度において未拂込株金を徴收の上資本金八千萬圓を倍額の一億六千萬圓に增資するに內定し、既にシンジケート團とも諒解濟みの模樣である

特產物檢查法の效果を期待す

—瓜谷大連商議會頭語る

滿洲國政府の特產物檢查法は十七日發表を見たが同法は產業部當局談にもある如く滿洲特產品の品質向上、市場價値の增進を目的として制定された劃期的施設であつて今後同法の適用宜しきを得ばその效果大なるものありと期待される、尤も十七日發布の法令は施行細則、規格等が除かれてゐるので直に滿洲特產市場に及ぼす影響は未知數であるが何れにしても急激なる變化はなきものと觀測されてゐる、右國營檢查制度施行發布の報を齎し瓜谷大連商工會議所會頭を訪へば語る

滿洲國の立場からすれば當然こゝまで來なければならぬものと思ふ、對歐大豆取引はF・A・Qが標準となつてゐるが、今後政府と當業者の努力によつて國營檢查品が取引の標準となることを希望したい、この點殊に政府にあつては海外へ國營檢查品の聲價を大いに宣傳して貰ひたい、ドイツと滿洲國間、特產取引等今回の檢查施行によつてますます日滿に助長發展する樣な結果を得ることゝなれば大いに慶賀すべきであらう云々

なほ當業者側では規格も不明であり細則も想像出來ないから意見の發表を差控へてゐるが、大體左の如く觀察してゐる

國營檢查施行の趣旨には大いに贊成で、本法の目的と使命達成に充分努力すべきだ、結局國營檢查の效果を百パーセントのものたらしめるには一にかゝつて法の運用如何にあることは言ふまでもない、忌憚なくいへば國營檢查までゆくべきが當然であるがそれの早急な實現は勿論望む方が無理だ

又生產檢查でなければ寧ろ輸入地において檢查する方法もある、然しこれとて實現性には乏しい、かくて國營檢查は中間的な方法によるほかないことゝなるが、檢查當局にあつてはこの點を考へて運用を誤らぬやう戒愼せねばならぬと思はれる、云々

圖們小賣物價

圖們日本商工會議所の九月十五日現在小賣物價中、米、雜穀の値段は左表の如く白米は新米の出廻り期に入り一斗につき廿錢下落し、これに順應して雜穀類も一齊安値を示してゐる

產地	品名	單位	値段
吉林	白米	一斗	二圓八〇
朝鮮	同	同	三・八五
間島	同	同	二・五〇
內地	糯米	一升	三八—四三
同	押麥	同	二二—二五
滿洲	小豆(中玉)	一升	三五
同	黑豆(同)	同	四〇
同	長鶉豆(同)	同	三〇
同	胡麻(黑)	一合	八
同	麥粉	百匁	一二
同	キナ粉	一袋	一八
同	片栗	同	一三
同	白玉粉	同	二〇
同	パン粉	同	二〇

北支に對する 朝鮮物資輸出

【京城國通】三井物產京城支店では北支の現況に鑑み朝鮮物資の輸出につき調査研究中であつたが、今迄のところ木材並に小麥粉の商談成立し相當量の輸出を見てゐる他目下鮮米の引合があるが滿洲米に壓せられて今後の輸出は見込薄の有樣である

「ステープル・ファイバー」 轉換期に直面

事變以來滯貨激增

支那事變勃發以來、ステープル・ファイバー及び同製品の支那、香港、關東州、滿洲その他關係地帶への輸出は殆ど積出皆無の狀態になつてゐるが、人纖及び同製品の輸出は對滿支輸出が主なる仕向地になつてゐる關係上事變による同地への輸出停止、經濟回復に至るまでの購買力萎縮はわが人纖工業に打擊を與へるものと見られてゐる、更に七月以降九月までの輸出約定も對滿支關係の率は大きく且つ數量も飛躍的に增加してゐるので之等の積出し不能の打擊は一層深刻であり、九月に入れば對米輸出の季節的增加が期待されてゐるがファイバーが中心であるため、既に五十萬函に達してゐる人纖滯貨は今後ますます增加せざるを得ぬ狀態である、從つて現在人纖絲の市價は生產コストを割りしかも相場は月初來漸落の一途を辿つてゐるが昨今原料統制に絡み棉花羊毛の輸入制限に對しファイバーの强制混入が問題になりつゝある一方ファイバーの纖維原料以外の需要も增加してゐるので今やファイバー界は新たなる轉換期に直面するものとして事態の推移は注視されてゐる

錦西に淡水魚養 魚場設立計畫

錦州錦西近鄉孫家屯に淡水魚の一大養魚場設立計畫が一企業家によつて企てられ注目を惹いてゐる、錦州居住の八田健太郎氏は同地附近は溜池が非常に多いのを利用して養魚場を設け濱名湖及び鴨綠江より鯉、鮒、泥鰌その他の淡水幼魚を移殖、大々的養魚を行ふべく計畫目下用地の買收交涉中であるが、右計畫に成功すればさらに魚場を擴大し奉天、新京を始め全滿各市場に進出する方針である

滿洲國の產業計畫 再檢討行はる

日本の戰時體制化に伴つて

支那事變の進展に伴つて日本內地に於ては非常時局に即應すべく戰時經濟立法が臨時議會を通過、戰時資材の圓滑なる供給をはかるため產業經濟の補强整備、即ち產業經濟の戰時體制化が着々として進行してゐるが、これと併行的に滿洲國產業五ケ年計畫も再檢討し、既定計畫の增產目標、方法或は緩急の順序について多少の修正を加へる必要に直面するに至つた、滿洲產業五ケ年計畫は勿論滿洲國の國力の增强、民生の向上を企圖するものであるけれども、日滿兩國を一體とせる國際關係の緊迫に應處して物資の現地調辨主義に發足したものであり從つて計畫立案の當初に當つては日本內地における一部資本家の間には將來における日滿產業の對立摩擦を憂ふるが如き短見も行はれる程であつたが、この計畫の主要部門たる重工業の發展こそは日本の經濟のもつ脆弱性を補强し、ブロック經濟を强化すべき性質を有してゐるのである

□

このことは支那事變の勃發によつて忽ち實證された、すなはち日本の產業、經濟の戰時體制移行に當つて滿洲產業五ケ年計畫の若干產業部門についてさらに急ピッチの增產が要請されるに至つたことであろ、國內重工業資源の貧弱な日本としてはブロック經濟內にある滿洲國の鐵、石炭を始め地下資源の迅速なる開發が當面の急務となつたのであり日滿を一體とせる計畫的產業の建設が、この事變を通じはじめて眞に具體的軌道に乘つて來たと云へる

□

さらに第二の觀點は國際收支の上から日本は滿洲國內の資をますます必要とするに至つたことである、日本は對外爲替相場を維持し國際收支を改善するために外國商品の輸入を能ふる限り制限し、國民生產品を以てこれに代置せざるを得ないのである、從つて日本で輸入する主要商品のうち滿洲國內において調達し得るものに就いては急速にこれを開發することが五ケ年計畫に必要の修正を加へる重要理由となつてゐる、さらに滿洲國內においては金準備の增大は同時に日本圓の金準備の增大であり日本圓と國幣は等價で日本の對外爲替相場はそのまゝ國幣の對外價値であり日滿一體として國際收支をみるのは當然過ぎるほど當然のことである

八月中の上海貿易 輸出入とも激減

【上海十八日發國通】上海海關發表によれば八月中の上海貿易は事變の發展により輸出入とも七月に比し半額以下に激減し、輸入は二千八百十六萬二千元と七月より四千九百四十八萬三千元(六割四分減)輸出二千三百七十五萬七千元と七月より二千九百十三萬四千元(五割五分減)を示してゐる、金銀塊は輸入皆無、輸出は金塊百二萬元、銀塊百四十一萬九千元に達してゐる、なほ右は當地に戰鬪開始されたる八月十三日までに行はれたもので、その以後は輸出入とも完全に停止してゐる

吉田電業社長 挨拶に赴哈

滿洲電業社長吉田豐彥大將は十九日午後一時着列車で來哈大磯支店長以下幹部の出迎裡に電業支店に向つたが驛頭で語る

廿五日の電業總會で社長を辭職することに決定したので、當地從業員ならびに在哈關係機關へ別離の挨拶を述べたいと思つてやつて來た、勇退後は內地に歸り日鐵事業に專念する豫定だが今後も滿洲國發展のため微力を盡す覺悟である

なほ大將は十九日夕電業支店幹部を招待し別離の宴を催し午後十一時發列車で歸京した

奉天八月の 卸賣物價概要

關東局官房文書課調、奉天に於ける昭和十二年八月分の卸賣物價の概要次の如し

一、騰落割合(重要品目四十種に付算出)

前月に比し九厘騰貴

前年同期に比し一割五分六厘騰貴

昭和五年一月に比し指數一二七・五即ち二割七分五厘騰貴

昭和六年年十一月に比し指數一六四・五即ち六割四分五厘騰貴

尙類別に依る指數を示せば次の如し

(上より順に前月、前年同月、昭和五年一月、昭和六年十一月を一〇〇とする數字)

類別	前月	前年同月	昭和五年一月	昭和六年十一月
食料品(七種)	一〇二、八	一二一、八	一四〇、五	一三三、八
調味料(七種)	一〇〇、八	一〇八、六	一二二、五	一五九、六
飲料及嗜好品(六種)	一〇〇、〇	九六、七	一〇五、八	一一〇、五
衣料品(三種)	一〇〇、〇	一〇六、五	一二五、七	一五〇、七
燃料(三種)	一〇〇、〇	九七、五	一〇一、八	一〇五、五
建築材料(十二種)	一〇一、六	一三三、四	一四五、一	一六〇、七
雜品(四種)	一〇〇、〇	一四一、六	一四一、〇	一七八、九
總平均(四十種)	一〇〇、九	一一五、六	一二七、五	一六四、五

二、騰落品目(調査品目五十八種中前月に比し騰落したるものを掲ぐ)

(騰貴十八種) 丸鐵(一割九分)柚角、白松(九分九厘)生鷄(八分六厘)板、白松(七分一厘)醬油、龜甲萬(五分)柚角紅松(四分)挽角、白松(二分)麥粉、綠天官羊(一分五厘)麻袋、鐵筋(一分三厘)白米、檢查一等(一分二厘)白米、無檢查一等(一分一厘)洋釘(八厘)麥粉紅三菱(六厘)白砂糖(五厘)麻袋、青筋(五厘)麥粉、紅綠三菱(四厘)

低落三種 亞鉛引浪板(一割一分一厘)塗料白ペイント(四分)板硝子(九厘)

保合三十七種

大連八月の 卸賣物價狀況

關東局官房文書課調、大連に於ける昭和十二年八月分の卸賣物價の概要次の如し

一、騰落割合(重要品目五十種に付算出)

前月に比し四厘騰貴

前年同月に比し一割九分六厘騰貴

昭和五年一月に比し指數一一四、五即ち一割四分五厘騰貴

昭和六年十一月に比し指數一五九、二即ち五割九分二厘騰貴

尙類別に依る指數を示せば次の如し

(上より次に前月、前年同月、昭和五年一年、昭和六年十一月を一〇〇とする數字)

類別	前月	前年同月	昭和五年一月	昭和六年十一月
食料品(九種)	一〇四、七	一二四、七	一一六、九	一六六、五
調味料(八種)	九八、七	一一一、九	九九、五	一三六、二
飲料及嗜好品(六種)	一〇〇、〇	一〇四、九	九九、三	一〇八、六
衣類品(七種)	九八、八	一二六、一	一一七、六	一七三、二
燃料(四種)	九九、四	一〇六、八	一〇一、六	一三一、一
建築材料(十二種)	九八、九	一三四、一	一二二、四	一九一、一
雜品(四種)	一〇三、一	一二三、六	一三六、三	一七〇、〇
總平均(五十種)	一〇〇、四	一一九、六	一一四、五	一五九、二

二、騰落品目(調査品目七十一種中前月に比し騰落したるものを掲ぐ)

騰貴二十三種 澤庵內地物(二割一分六厘)、鷄卵(一割八分一厘)、牛肉(一割一分一厘)、生石灰(一割)、牛紙(六分二厘)、麥粉鶴(六分一厘)、鹽鮭(四分四厘)、洋紙(四分八厘)、白米、無檢查一等(三分九厘)、白米、檢查一等(三分八厘)、角白松(三分七厘)、紅松(三分三厘)、柚角、板紅松(三分一厘)、挽角、紅綠三菱(二分九厘)、麥粉、板、三菱(二分九厘)、地物(二分九厘)、醬油、龜甲萬(二分一厘)、味噌、內地物(二分一厘)、麻袋、青筋(一分六厘)、挽角、白松(一分五厘)、麻袋、鐵筋(一分五厘)、麥粉、朝鮮米、寶船(一分四厘)、(九厘)

低落十七種 丸鐵(一割一分二厘)、砂糖(一割一分三厘)、毛絲鶴印中大九分一厘)、亞鉛引浪板(七分三厘)、角砂糖(八分一厘)、馬鈴薯(四分七厘)、鰹節、薩摩(三分八厘)、鰹節、土佐(三分八厘)、氷砂糖(三分五厘)、疊表(三分一厘)、塗料白ペイント(二分五厘)、ガソリン赤貝印(二分二厘)、煉瓦、手抽ャ(一分七厘)、花崗石(一分六厘)、板硝子(一分二厘)、白砂糖(一分)

保合三十一種

第七次移民團指導員 哈爾濱に到着

拓務省第七次滿洲國移民團指導員五十五名は、移住協會主事富永良男大佐に引率されて國防服に脚絆、肩にリュックサックを擔ひ左手に日本刀をひっさげ元氣潑剌として十九日午後一時着列車で着哈し、移民關係各方面の歡迎裡に三臺のトラックに分乘し日滿兩國國旗を掲げつゝ郊外王兆屯の滿蒙拓植訓練所に安着したが、代表者は驛頭で語る

われわれ一行は京都、奈良の一部を除いた全國各府縣より北滿農業移民隊員指導者として先發しリーダーとしての重責を果す爲め勇躍乘込んで來ました、來春三月まで王兆屯訓練所において猛訓練をつみ、その間移民地調査視察を行ひ四月解氷期と共に各自五名の移民隊員を引率して奧地に入植し日滿協和の實を擧げるとともに產業開發に邁進する覺悟です

商況欄 (二十日前場)

海外經濟電報

倫敦金塊 七磅〇志一片〇〇 / 紐育金塊 休 / 倫敦銀塊 一九片八分七 / 同先限 一九片四分三 / 紐育銀塊 五一留比六分三 / スチール株 九〇弗八分一 / アナゴンダ株 四三弗〇〇

▲市俄古小麥

九月限 一弗〇二仙四 / 十二月限 一弗〇三仙四 / 五月限 一弗〇五仙四

▲紐育棉花

現物 九仙〇六 / 十月限 八仙八七 / 十二月限 八仙七四 / 一月限 八仙七六 / 三月限 八仙八八 / 五月限 八仙九八 / 七月限 九仙〇七

▲カルカツタ麻袋

青筋 一三留比二六分三 / 鐵筋 一二留比二六分三

▲外國爲替

英米爲替 四弗九六仙一〇 / 米英爲替 四弗九六仙一〇 / 英日爲替 一志二片〇五 / 米日爲替 二八弗九六仙 / 英支爲替 一志二片四分三 / 印日爲替 七七留比二分一

▲印棉

ブローチ 一八四留比 / オームラ 一六四留比 / ベンゴール 一四〇留比

▲阪神爲替

賣 二八弗 四分三 / 買 二八弗 六分 / 賣 一志二片〇〇 / 買 一志二片三分一

各地株式市況

▲東京株式(短期)

銘柄	寄付	大引
新東	一四四、三〇	一四五、六〇
日產	六八、三一	—
鐘紡	二三三、九〇	二三四、三〇
滿鐵	七五、四〇	—
大新	七九、八〇	八二、九〇

▲大阪株式(短期)

銘柄	寄付	大引
大新	八九、九〇	八一、八〇
新東	一四四、七〇	一四五、六〇
鐘紡	二三三、〇〇	二三三、一〇
日產	六八、六〇	六八、九〇
日魯	六二、八〇	六二、九〇

▲大連株式(短期)

銘柄	寄付	大引
五品	一五、六〇	—
豆新	一九、〇〇	—
東新	一四五、〇〇	—
日產	六九、一〇	—
滿洲	五四、五〇	—
同新	四三、〇〇	—
鐘新	二三三、八〇	—
土木	一三、三〇	—
日新	三五、〇〇	—

各地商品市況

▲大阪綿糸

限月	寄付	大引
九月限	二四四、一〇	二四三、一〇
十月限	二四三、六〇	二四一、三〇
十一月限	二四〇、九〇	二三八、〇〇
十二月限	二三九、九〇	二三七、五〇
一月限	二三九、五〇	二三六、一〇
二月限	二三九、五〇	二三六、一〇
三月限	二三九、九〇	二三六、一〇

▲大阪棉花

當限 六二、五〇 六一、五〇 / 先限 六四、六五 六四、六五

▲大阪人絹

當限 六八、六〇 六八、五〇 / 先限 六四、〇〇 六四、〇〇

▲大阪期米

當限 三四、三三 三四、三三 / 中限 三三、三〇 三三、一〇 / 先限 三〇、九九 三二、二三

▲橫濱生糸

現物 八五〇 / 當限 八二〇 / 先限 八〇〇

各地特產市況

▲大連

豆 寄付 大引 / 袋入 六、四三 六、五三 / 九月限 六、三六 六、四八 / 十月限 六、三三 六、二六 / 十一月限 六、二二 六、二三 / 十二月限 六、二二 六、二三 / 一月限 六、〇七 六、二一 / 三月限 — — / 粕 現物 — — / 九月限 — — / 十月限 — — / 十一月限 — — / 十二月限 二、三五 二、三五

豆油 一月限 — — / 二月限 — — / 現物 — — / 九月限 — — / 十月限 一七、〇〇 一七、〇〇 / 十一月限 — — / 十二月限 — — / 一月限 — — / 二月限 — —

白い天使 (九八)

(上演禁上映)

林房雄作 吉田貫里畫

トランク(四)

『なんさいふ、ばかな、ことをしてかしたのだらう!——輕るずみにも、ほどがある!……』

弟の負傷を案ずるよりもさきに田中はさう思つた。

——とにかく通知をうけた以上、病院までは出かけねばならないのだらうが、うるさい話だ。

代理でも立てようか?

そこへ、おろおろと顏色をかへた史子夫人がかけこんできた。

『あなた、秀夫さんが……』

田中は、にらみつけた。

『今、警察から電話をうけたところだ——かうなつた以上さわいでもはじまらん……』

『でも、重傷だといひますし……』

『自業自得だ……秀夫の身分で、爭議に關係するなんて、道樂も過ぎるぢやないか?……警察がなほしてくれるといふのだから、なほるまでほうつておけばいゝ!』

『まあ、あなたといふ人は!……』

よくも、そんな不人情な言葉が口に出せるものだといひたげに、夫人は眼をみはつた。

『書生か女中を病院までやつておけ——それでたくさんだ!』

『いゝえ、あたしが參ります。あたしたちよりさきに、弘子さんがかけつけて看病してくれてゐるさうですが、あなたは、肉親の兄として、はづかしいとはお思ひにならないですか?』

『なに、弘子がいつてゐる?……』

『今、あたしのところに弘子さんから、電話があつたのです』

『むう』

田中は、ちよつと腕をくんで、考へた。

弘子が秀夫の側についてゐる以上、其儘にしておく譯にはゆかぬ。

この際、秀夫を自分のところにひきされば、二人をひきはなすこともできるし、同時に、弘子を自分の手のとゞくところにつなぎとめておくこともできる。

それに、秀夫に對して、あまり不人情なことをしては、世間態もあるし、また、會社の事業がうまくゆかないのだとすれば、秀夫の財產をつかひこんでゐるのだから今、親切ごかしに秀夫をまるめておけば、あとで役にたつだらう

ついでに、負傷が重くて死んでしまへば、一擧兩得なのだが——と、そんな考へさへちらりとうかんだ。

『よろしい』

田中は立ちあがつて、考へ深さうな顏をして、史子夫人にいつた。

『あなたは、すぐに病院の方にでかけてもらひたい。ぼくは警察の方にまはつて、よく話をつけてこよう。負傷した上に、起訴にでもなつたら、秀夫も可愛さうだから……』

探しあてた病院は、隅田公園の裏手にあたる、ごみごみした通りにある粗末な平家建であつた。

玄關に、警察關係らしい男が、三四人も警戒的な眼を光らせて、うろうろしてゐるところをみると秀夫のほかにも爭議の負傷者が何人か收容されてゐるらしい。

受付に來意を通じると、看護婦がガタガタな廊下をごほつて、史子夫人を案內してくれた。

うしろから、唇の厚い、鋭のある眼をしたせの低い男がついてきた。刑事であらう。

日あたりのわるい、冷々とした病院の鐵の寢臺に秀夫は、顏の半分を白布で包んだ姿で眠つてゐた。

弘子は、上衣をぬいて、ブラウスを二の腕までたくしあげた甲斐々々しい姿で、立ち働いてゐた。

まるで裝飾のない枕元に黃水仙をもつた花瓶がおいてあるのは、弘子の心づくしであらう。

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一ヶ月壹圓五拾錢 一部五錢
廣告料 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三三〇五
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

幻影？・軍政機構改組

國府の新陣容

軍事大元帥蔣介石

【香港廿日發國通】當地支那側入電によれば、國民政府は長期抗日陣容建直しのため軍政機構改組を決定した、新陣容の人選左の如し

軍事大元帥 蔣介石
總參謀長 程潜
副總參謀長 白崇禧
平漢軍區司令 蔣介石（兼任）
津浦軍區司令 李宗仁
河北軍司令 閻錫山
江蘇、浙江軍區 馮玉祥
粤閩軍區 何應欽
行政戰時内閣院長 蔣介石
第一部長 賀紹雄
第二部長 熊式輝
第三部長 張羣
第四部長 翁文
第五部長 吳鼎昌
第六部長 陳公伯

全滅近き綏遠軍は袋の鼠

【豐鎭廿日發國通】綏遠軍約五萬は平綏線より追擊する日蒙兩軍と殺虎口方面より進擊した長谷川部隊の三面攻擊を受け廿日午後一時全く袋の鼠となり全滅の運命に陷つた

涿州附近の敵を全滅す

【豐鎭廿日發國通】平漢線方面琉璃河、涿州附近の敵はわが猛擊に拒馬河上流山地に遁走、さらに南方に向つて潰走を續けてゐたが、〇〇部隊の易州占據に退路を遮斷され全滅となつた

内蒙騎兵部隊

綏遠省に進擊す

【豐鎭廿日發國通】〇〇部隊と共同作戰中の内蒙古軍騎兵部隊主力は商都の要害に據る支那軍一千五百を擊破し、さらに西南に向つて逃走する敵を急追し、十九日午後十一時廿分得意の夜襲により平地泉の東北十五里の高家地を占領、綏遠省内に進擊し、二十日拂曉强行軍で勇躍〇〇に向つて進發した

豐鎭占領部隊進擊

【豐鎭廿日發國通】綏遠省の要害豐鎭城を占領し多仕度を整へた千田、板倉兩部隊は、廿日拂曉〇〇に向つて勇躍進擊した

長城殺虎口に日章旗飜る

【豐鎭廿日發國通】右玉より進擊した田中部隊は十九日午前七時綏遠軍の唯一のたのみとする太原への退路殺虎口を完全に占領し、中秋の明月に淡く浮ぶ關門の望樓に日章旗を飜した、峻嶮峨々たる大宵山脈からわが陣營に吹き下す秋風は早やわが勇士等の襟元を冷たくかすめ酷寒襲來近きを知り戰場にしばしまどろむ勇士の夢は長城の滿月に淡く照らされてゐる

徐州を空爆

【〇〇基地廿日發國通】昨日徐州、海州の爆擊に引續きわが第〇艦隊第〇航空隊〇〇機は廿日午前十一時〇〇基地出發大擧徐州を襲擊し軍事上の重要施設ならびに多數の軍用列車を爆破し多大の損害を與へた

東賈庄、八坊肉薄

【天津二十日發國通】軍司令部午前九時發表＝東賈庄（馬廠西方四里）八坊の線に堅固なる陣地を構築中の敵に對し野田部隊は飛行部隊の協力を得て攻擊中午前七時三十分にはわが第一線は敵陣五十米の地點に達す、敵は南方および西方に退却中なり

岡本部隊の鹵獲品

【天津廿日發國通】十三日千君臺附近において敵中央軍二ヶ師に對し徹底的打擊を與へた岡本部隊の報告によると、當日のわが軍の得た戰利品は輕機七十挺、重機八挺であるが、更に涿州平原戰において敵は周章狼狽して無數の武器、軍需品を捨てゝ潰走、わが軍の鹵獲品は砲彈六千發、手榴彈五千發、ガソリン三千罐、小銃彈九十萬發、その他糧秣等莫大に上り、敵の潰滅的大打擊を物語つてゐる

羅店鎭方面部隊

猛攻擊を開始

【上海廿日發國通】軍報道部午後三時發表＝數日來滿を持し敵を待ちたる羅店鎭附近の〇〇部隊は今朝來其砲火力を最高度に發揮し飛行機の活躍と相俟つて全力をもつて猛攻擊を開始せるに先月下旬以來優勢なる新手兵力を加へ頑强なる抵抗を持續し來れる數ヶ師の敵は遂にわが勇壯なる攻擊に堪へかね午前九時一部を陣地に止め主力をもつて西方及び西南方に退却を開始せり

〇〇部隊は目下殘敵の抵抗を排除しつゝ敗退する敵を急追中なり

避難勸告の眞意

【東京國通】長谷川第〇艦隊司令長官はわが海軍の南京空襲に際し該地居住の第三國人及び支那非戰鬪員に對し危險を慮り豫め避難するやう通告を發したが、わが海軍がかゝる通告をなしたる眞意は最近南京市は中華民國の首都としてよりも支那全軍の作戰本部と化したる實情にあり、市内の各方面にわたつて特殊の軍事施設軍需品の貯藏が行はれつゝあり、わが海軍の爆擊隊は今日まで第三國人の生命および公館、住宅、工場その他の財產、支那非戰鬪員の生命財產に危險を及ぼさゞるためその危險なき部分の敵軍事施設に對してのみ爆擊しつゝあつたが、支那側軍事施設の中には第三國人の工場、住宅、公館を楯にする狡猾なるの手段がとられてゐる物も尠くなく軍事施設に對して徹底的爆擊を敢行するためにはそれ等に對しても爆擊を行はねばならぬ情勢に立ち至つたので、國際公法には軍事施設爆擊に關し通告の義務はなく、且つ今日まで空爆の豫告をなしたることなきにも拘らず、また右通告が戰略上不利なるにも拘らず敢へて第三國人の生命財產保護の見地より徹底的爆擊開始を前にして通告をなしたものである

沿岸封鎖で

支那行詰り近し

【東京國通】わが海軍力による沿岸遮斷で支那は鹽、米その他重要物資の移動も不可能の狀態に陷りその精神的打擊の甚大さはもとより經濟的にも今や全く行詰りつゝある

中央突破作戰完成

北支戰局躍進的展開

【天津廿日發國通】十九日涿州平原に壯烈な大會戰を展開したわが皇軍の中央部隊は迅速果敢なる進擊によつて十七日涿州南方幹線を遮斷、十九日遂に定興、臥虎山の線に進出易城を占據、玆にわが中央突破の作戰は輝かしく完成、北支戰局に躍進的展開を齎した、かくて我平漢線方面各部隊は敵を完全に西南方に壓迫しつゝ彼が北支最後の據點と頼む保定を僅か十里餘の彼方に見て意氣軒昂たるものがあるが、この方面の敵は孫連仲第卅軍の三箇師、萬福麟第五十三軍の二箇師、馮治安の舊軍三箇師、騎兵一箇師、中央軍の精鋭衛立煌第十四軍二箇師の約十餘萬であるが、前線の敵は西方山地および南方に總崩れとなり潰走しつゝあるかくて北支戰局はわが察哈爾作戰部隊の山西北部確保および津浦線、膠濟線進出と相ならび中央突破完成の輝しき戰果により河北および北支支那軍の潰滅は間近とみられるに至つた

（無事基地に歸還せり）

又南京を大爆擊

首都の空に敵影なく

制空權は完全我手に

【上海廿日發國通】艦隊報道部廿日午後一時發表＝楠木少佐の率ゐるわが海軍航空隊空襲部隊は廿日朝再び銀翼を連ねて大擧南京を空襲せり、十九日二回にわたるわが猛烈な空襲により敵機は既に全滅せるものゝ如く、南京上空に敵影なく、わが空襲部隊は首都の制空權を確實に獲得し上空を自由自在に亂舞しつゝ敵の要地に對し大爆彈の雨を降らしつゝあり、目下南京は大混亂を呈してゐる

故障機を操縱

基地へ歸還

【上海廿日發國通】十九日の南京空爆において熊谷鐵太郎一等航空兵操縱、柳徹一等航空兵搭乘のわが〇〇機は、敵カーチス・フォーク戰鬪機との空中戰鬪中に敵彈のため操縱桿を破壞されたが、沈着よく操縱を續けて無事〇〇基地に歸還した

各機關を爆破

【上海廿日發國通】十九日二回に亘り南京空襲を行ひ首都の防空陣を叩きのめしたわが海軍航空隊は、秋晴の廿日午前十時頃と十一時頃の二回に亘り再び南京空襲を敢行、楠本部隊長指揮のもとに高橋、白相兩部隊に相次いで室崎、崎長、松田、阿金、寺島、龜の各隊の率ゐる空の精鋭は、首都飛行場、南京防空砲臺、南京要塞及び參謀本部、南京政府を爆擊し、殊に參謀本部と南京政府は木葉微塵に破壞された、敵はわが第二隊の空襲の頃七、八機のカーチス・フォーク型をもつて挑戰したがわが各機は直ちに四機以上

南京制空權確保

艦隊報道部發表

【上海廿日發國通】艦隊報道部廿日午後五時發表＝楠本部隊長の率ゆる海軍空襲部隊は廿日首都を空襲し、參謀本部南京政府、富貴山砲臺、飛行場、格納庫その他軍事上重要地點を爆擊せり、十九日二回に亘るわが大空襲に敵機の大半は擊墜され、我空襲部隊に手向ふものは僅かに七、八機に過ぎず、既に南京制空權を確保したわが部隊はこれを縱横に翻弄して敵四機以上を擊墜せり、わが方損害極めて輕微である

僅か十五分間に敵七機を擊墜す

壯絕なる空中戰を聞く

荒鷲部隊陣中探訪記

【〇〇根據地にて廿日國通特派員發】記者は十九日拂曉敵機七機を僅か十五分間で擊墜した〇〇軍の荒鷲部隊を訪ねるべく十九日午後零時十五分金丸飛行士の操縱するブスモス機に搭乘、〇〇を出發して敵機の雲間に出沒する山西平野の空を翔き空軍の根據地に向つたが、彼方に見える内長城の門の間から敵機が何時飛び出して無武裝のわれ等のブスモス機を襲擊するやも知れないのである

窓外

に展開する山西の野は豐かに實つて金色に光つてゐる、わが軍が幾多の勇士の血潮を流して攻略した〇〇高地の陣地が箱庭のやうに小さく見える、わが砲彈のため射ち墜されたる山頂の望樓の周圍には支那兵の死體が無數に散在する、十數羽の烏がその附近に群れてゐる、黃色な土色の流れは羊腸としてどこまでもうねりくねつてをり山陰に農民が秋の收穫に餘念がない、これ等の風景は高度三百メートルの機上の行手に手に取るやうにみえる、わがブスモス機は

赤土

の巍峩たる山、谿谷を越えて六十キロ餘りも山西の戰場を翔破してゐるのである、下舵をとつた機は急降下し爆音を轟かして敵機の襲來に備へてゐる〇〇軍荒鷲部隊〇〇根據地に午後一時八分着陸した、機から飛出した記者の鼓膜はわが荒鷲部隊の精鋭機の爆音で聽覺を失ひさうだ、アンペラ造りの野戰陣營に日章旗が秋日に映じてゐるのも頼もしい限りだ、アンペラ

陣營

に飛込んだ記者は「やあお日出度う」と〇〇隊長廣瀨中尉の手を固く握りしめた「前哨戰をやりましたよ」と空中戰の初陣を飾つた勇士達は嬉しさうだ、氷谷大尉以下廣瀨中尉坂本中尉、原田曹長、横山軍曹の五勇士は十九日拂曉大同南方上空におい敵機七臺を擊墜した血湧き肉躍る空中戰の模樣を左の如く語つた

松崎

大尉の指揮する〇〇編隊〇機及び氷谷大尉の指揮する〇〇編隊〇機は十九日拂曉太原の支那飛行根據地を粉碎すべく銀翼を連ねて勇躍根據地を出動高度四千米を保ちつゝ敵陣地に迫つたのである、機關の調子は頗る良好、各機から無電を〇〇根據地に送り乍ら大同を過ぎ懷仁を見下しつゝ午前七時十五分いよ〳〵敵の堅壘内長城の陣地に差しかゝつた時、最右翼の廣瀨部隊隊長の眼に映じたのは待つこと久しい敵の輕爆九機であつた、高度二千五百米の敵を射てと廣瀨隊長は

眞先

に電鍵を叩きつゞいて下舵をとつて急降下して敵に迫つた、續いて坂本、原田、横山の各勇士は餌を狙ふ荒鷲の如く襲ひかゝつた、ダダダダ……わが陸軍機は山西の長城上空で最初の火蓋を切つたのだ、二百米の上空から射ち出す荒鷲部隊の彈は右から左から敵機を射ちまくり逆轉、急降下しつゝ掃射した、廣瀨隊長の〇〇銃彈は見事敵機のタンクに命中し白煙をはいて錐揉み狀態となつて墜落してしまつた、我荒鷲部隊の急襲に度肝をぬかれた敵の六機は大同襲擊の目的を達するどころか大旋回して逃走をはじめた、逃がさじとわが

精銳

は猛射をあびせつゝこれを急追、攻擊を開始するや何を血迷つたか敵機二機は滿載した爆彈を支那軍陣地に投じつゝ逃走、白煙をはいて忻縣城西方の山陰に機影を沒した、一方松崎隊長、西部隊長の指揮する〇〇〇〇隊〇〇機は太原後方山地を迂回して敵の空軍根據地を爆擊せんとするや敵の戰鬪機が死物狂ひに襲ひかゝつて來た、我〇〇隊は敵機を反擊しつゝ太原飛行場を襲擊し猛烈なる空爆を敢行し、我爆彈は敵の空軍根據地を完全に粉碎、豪膽にも急降下した西部隊長は離陸せんとしたダグラス大型二機をと

爆擊

燒失せしめたカーチス、ボーイング敵優秀機の猛烈な襲擊を石津部隊長と坂本隊長は反擊しつゝ友軍を守り歸還の途につかせ、さらに猛然と敵に向つて猛反擊に出で敵機三機を擊墜し逃走する敵の數機を太原南方に迫ひつめ午前七時四十分完全に山西の制空權を確保しわが荒鷲部隊の空中戰の初陣を飾り〇〇根據地に無事歸還した、かくてわが部隊は朝食前の仕事に敵機七機を擊墜八機を損傷せしめ敵の空軍根據地を完全に擊滅したのである

〇〇根據地にあつて荒鷲隊を指揮する〇〇部隊長は

何の朝食前の仕事だ、これからもうんと敵を擊墜してやるさ

と戰場で長く伸びた鬚を撫しつゝ語つた、なほ空中戰鬪に參加した勇士は左の如し

水谷、石津、松崎の三大尉、廣瀨、西、金木、赤木、赤堀、坂本の六中尉、谷田部境の二少尉、渡邊、岸森、阿座上、原田四曹長、中浦横山二軍曹、大栗上等兵

因みに廣瀨中尉は茨城縣、横山軍曹は岡山縣、原田曹長は兵庫縣、坂本中尉は大分縣の出身である

警察官異動

行政權移讓に對處し

警部補以上八十七名

廿日夜十一時發表

治外法權撤廢並に滿鐵附屬地行政權移讓に對處する關東局警務部では二十日午後十一時管下警察官警部補以上八十七名に上る廣範圍の異動を發令した、本異動に引續き近く巡査部長以下の異動發令も行はれる筈であるが、今次異動は關東局としては最後的な異動で州外勤務を命ぜられた者は治外法權撤廢の曉に於て當然滿洲國入りをなす運命にあるわけである、内容左の如し

警視 末光高彥（皮子窩）
奉天警察署勤務兼警察官練習所教官を命ず 同 楠田修（營口）
新京警察署勤務兼警察官練習所教官を命ず 警部 市丸新次（營口）
補營口警察署長 同 南政一郎（奉天）
補貔子窩警察署長 警部 宇井寧（小崗子）
補瓦房店警察署長 同 山口彌作（鳳凰城）
四平街警察署勤務を命ず 補奉天總領事館鄭家屯警察分署長 同 西内貞吉（鄭家屯）
補錦州領事館警察署長 警部補 長田武雄（新京）
任警部 新京警察署勤務を命ず 同 池田米太郎（公主嶺）
任警部 公主嶺警察署勤務を命ず 同 田中勝（開原）
任警部 開原警察署勤務を命す 同 澤村增太郎（遼陽）
任警部 奉天警察署勤務を命ず 同 土田久市（蘇家屯）
任警部 蘇家屯警察署勤務を命ず 同 高橋新平（安東）
任警部 安東警察署勤務を命ず 同 前川勝（大連）
任警部 州廳警察部警務課勤務を命ず 警部補兼通譯生 澤田斌夫
（州廳高等）
免本官專任通譯生兼警部 新京警察署勤務を命す 警部補 小巻榮三（奉天）
任通譯生兼警部 奉天警察署勤務を命ず 同 和田正一郎（安東）
任通譯生兼警部 安東警察署勤務を命す 警部 三浦繁樹（瓦房店）
州廳警察部警務課勤務を命ず 同 中島茂（新京）
州廳警察部高等警察課勤務を命ず 同 黑田平八郎（本局警備課）
同 西見正市（新京）
大連警察署勤務を命ず 同 渡邊宣明（小崗子）
大連小崗子警察署勤務を命ず 同 森山得露（奉天）
大連沙河口警察署勤務を命ず 同 鶴木親三（大連）
新京警察署勤務を命ず 同 中澤武人（沙河口）
奉天警察署勤務を命ず 警部 岡野清（州廳高等）
遼陽警察署勤務を命ず 同 居場計（大連）
大石橋警察署勤務を命ず 巡査部長 星大貳郎（本局警務課）
同 杉山弌勇（同）
任警部補 警務部警務課勤務を命ず 同 小谷幸次（新京）
同 平岡輝（同）
任警部補 新京警察署勤務を命ず 巡査 西村美代治（四平街）
任警部補 公主嶺警察署勤務を命ず 巡査部長 薬杖辰治（新京）
任警部補 四平街警察署勤務を命ず 同 山中權（開原）
任警部補 奉天警察署勤務を命ず 同 古田源吾（奉天）
同 村山一三（同）
任警部補 奉天警察署勤務を命ず 鈴木正一（鐵嶺）
任警部補 鐵嶺警察署勤務を命ず 巡査部長 金子吉之助（本溪湖）
同 小松崎武雄（同）
任警部補 本溪湖警察署勤務を命ず 同 美根倉次（鳳凰城）
同 田口一彥（四平街）
同 猪狩實
任警部補 鳳凰城警察署勤務を命ず 同 花ヶ崎四郎（奉天）
任警部補 安東警察署勤務を命ず 同 天坂潔（新京）
任警部補 鞍山警察署勤務を命ず 同 守部貢（大石橋）
任警部補 大石橋警察署勤務を命ず 同 鎌田浩（營口）
任警部補 營口警察署勤務を命ず 同 淺井清一（本溪湖）
任警部補 瓦房店警察署勤務を命ず 同 池水喜一（撫順）
任警部補 撫順警察署勤務を命ず 同 小西熊七（大石橋）
任警部補 大石橋警察署勤務を命ず 巡査部長 高松英雄（新京）
任警部補 鞍山警察署勤務を命ず 警部補 酒井榮四郎（本局高等）
同 卜部義雄（瓦房店）
同 富藤良二（鞍山）
同 高橋一朗（本溪湖）
大連警察署勤務を命ず 同 松林定次（新京）
營口警察署勤務を命ず 同 櫻井謙吾（蘇家屯）
同 西田德太郎（瓦房店）
金州警察署勤務を命ず 同 本田政男（公主嶺）
同 永沼秋夫（奉天）
大連小崗子警察署勤務を命ず 同 高林重藏（鞍山）
貔子窩警察署勤務を命ず 同 森竹和太郎（營口）
大連沙河口警察署勤務を命ず 同 脇坂重治郎（旅順）
同 木村浩平（小崗子）
奉天警察署勤務を命ず 同 黑川文夫（旅順）
同 山下榮二（大連）
瓦房店警察署勤務を命ず 同 近藤敏夫（大連）
警部補 土師四郎（小崗子）
新京警察署勤務を命ず 同 高口俊治
公主嶺警察署勤務を命ず 同 圖師郁夫（大連）
范家屯警察署勤務を命ず 同 千葉運三郎（沙河口）
本溪湖警察署勤務を命ず 同 渡邊喜一（沙河口）
安東警察署勤務を命ず 同 波多野利作（錦州）
鞍山警察署勤務を命ず 同 松崎隆造（普蘭店）
營口警察署勤務を命ず 同 種田稔（奉天）
警務部高等警察課勤務を命ず 同 吉住俊雄（奉天）
補錦州領事館警察署朝陽分署長 同 澤田勲（練習所）
警務部警備課勤務を命ず 同 胡川豐（同）
新京警察署勤務を命ず 同 清水康（同）
奉天警察署勤務を命ず 警部補 淺川辰三郎（練習所）
大連警察署勤務を命ず 同 中村一照（安東）
旅順警察署勤務を命ず 囑託 關根昇（奉天）
任通譯生 營口警察署勤務を命ず 同 川越友吉（范家屯）
任通譯生 公主嶺警察署勤務を命ず 大野三治
任通譯生 開原警察署勤務を命ず 荒山彰一
任技手 奉天警察署勤務を命ず 樽井勇藏
任技手 新京警察署勤務を命ず 通譯生 坂田磯五郎（小崗子）
奉天警察署勤務を命ず 同 福澤軍三（營口）
大連小崗子警察署勤務を命ず

佐野博士離京

國都建設五周年記念式典に參列のため來京した日本大學工學部長佐野利器博士は廿日午前七時二十分發飛行機で歸國の途についた

偶語

當局は滿洲緬羊三千萬頭計畫のもとに緬羊の增殖に大童となつてゐる▼滿洲の緬羊數は事變後八百萬頭と云はれ六百萬頭といはれてゐたがいづれも確たる根據のない漠たる數字であつて▼最近に到り二百五十萬頭と發表されてゐるのがやゝ實際に近い數字であらうと云はれてゐる▼それを三千萬頭に增殖しやうといふのであるから並大抵の努力では追つつく事ではないそれに滿洲は飼育管理が非常に難しいのに加へて其の途のエキスパートが極めて少い▼或る學者は滿洲の在來種は毛質が惡い緬羊はメリノーでなくては駄目だとはる〴〵濠洲あたりから莫大な費用をかけて輸入しても▼完全に越冬するものは稀で冬期殆んど參つて終ひまた越冬したにしても夏季種々の病氣に罹つて斃死して終ふのが多い▼その原因は一に氣候風土の關係と見做してゐるやうであるが最近緬羊研究に前半生を捧げてゐるその途のエキスパートの語るところによると▼氣候風土は問題でないそれよりも最も重大なる原因は病毒にある▼滿洲種緬羊の病毒の多いところは世界稀で この防疫を講ぜずして緬羊計畫など以つての外だと當局の無關心を慨嘆してゐる▼學者ならずとも實際家の言は貴しと當局は大いに用ひて他山の石となすべきであらう

社說 沿岸封鎖の效果

一

去る八月廿五日以來、全支那の沿岸封鎖が實施されてゐる支那事變の、宣戰されない戰爭としての實質は一層濃化されて來たのである。統計を見ると昨年中に支那の海港から外國に向けて出港、或ひは外國から支那海港に向け入港した船舶の數は合計八萬七千餘隻、そのうち支那の船舶は六萬三千餘隻を占めてゐるが、しかしその大部分は戎克であつて積載量は極めて僅かである。從つて支那船舶の航行遮斷によつて致命的打擊を受けるには至らないのであるが、上海はじめ中南支の海港が絶えず爆擊、砲擊に脅かされて貿易を正常に行ひ得ない狀態は續くのであるから、支那が財政經濟上に蒙る打擊は少くないであらう。

二

支那の海關貿易は昨年の實績で輸出入總額十六億五千百萬元でそのうち九億一千七百萬元は上海一港に獨占されてゐる。上海が軍事的及び金融的に今日のやうな狀況を續けるならば、外國貿易は殆ど杜絶に近く、支那の貿易は半減すると見ねばならない。また支那は國內貿易が多く昨年中の實績に依ると移入額の合計は十二億元餘に上るがその大半は上海その他の沿岸貿易である。これもまた大打擊を蒙らざるを得ぬことは明白である。もつとも、支那の人口の大部分を占めるものは農民であり、農民經濟は自給自足の分野が廣い。民衆は低い水準の生活に慣れて居り、それに國內市場そのものは相當に大きいため民衆の衣食住は封鎖を受けても深刻な打擊は蒙らないことは注意し置くべきである。

三

ただ沿岸封鎖によつて南京政府の蒙る打擊は大たらざるを得ぬ。第一に武器彈藥の補給を海外から受けることが困難となれば、戰鬪力は必然に衰へざるを得ないであらう。次に貿易が長く杜絶すれば、海關收入が得られなくなり財政的に窮乏せざるを得ない。本年度の支那の豫算を見ると歲入の總額は十億餘圓であつて、そのうち稅收入額は八億三千八百萬元、そして關稅收入は三億九千六百萬元と見積られてゐる。關稅收入が重要な財源であることを知り得るのである。事變が現代程度の狀況を續けるとしても關稅收入は半減せざるを得ぬであらう。それに關稅の大部分は內外債の擔保に當てられてゐるのである。日支の交戰が今後半年續いても支那の內外債は利拂不能に陷ること必定であると見られる。もつとも英佛等の對支借款が實現するならば急に外債の支拂停止等になることもないであらう。ともあれ沿岸封鎖は相當の效果をあげ得ること明白であり、すでにその證左は表示されてゐるのである。

日支交戰の結果 安全保證し難し

自發的避難の措置を强調す 長谷川司令長官の第三國通告正文

【上海廿日發國通】長谷川司令長官の通告正文左の如し

支那軍の敵對行爲を終熄せしめ、もつて時局の迅速なる收拾を促すことはわが軍作戰の目的とするところにして、南京は支那軍作戰行動の中樞なりと認め、わが海軍航空隊は九月廿一日正午以後南京市および附近における支那軍隊ならびに作戰および軍事行動に關係ある一切の施設に對し爆擊その他の加害手段を加ふることあるべし右の場合においても友好國の權益および國民の生命財產はこれを尊重する意向なること勿論なるも、日支交戰の結果萬一にも危害がおよぶことなきを保し難き狀況なるに鑑み、第○艦隊長官においては南京市および附近に在住する友好國官憲および國民に對し自發的に適宜安全地帶に避難の措置をとられんことを强調せざるを得ず なほ揚子江上に避難せられる向は警備艦船にて下關上流に避泊せられんことを望む

支那側非戰鬪員も 軍事施設より遠ざかれ

【上海廿日發國通】長谷川第○艦隊司令長官は列國外交機關に對する通告とゝもに一般支那人非戰鬪員に對し廿日左の如き警告を發した

帝國海軍航空隊は爾今南京市及び附近における支那軍隊その他作戰及び軍事行動に關係ある一切の施設に對し必要と認むる行動をとることあるべく、この際非戰鬪員たる支那人に對する危害は能ふる限りこれを避けたい希望なるをもつて右非戰鬪員は該軍事的目標に接近せざるを可とすべく、これを敢てなすものは當該各人自身の危險においてし、その受くることあるべき危害に伴ふ責任は我軍においてこれを負はざるべし

昭和十二年九月廿日 第○艦隊司令長官 長谷川清

外務省當局見解

【東京國通】長谷川第○艦隊司令長官が十九日附で在支列國外交機關に對し發せる南京およびその附近からの爆擊避難勸告に關し、わが外務當局では左の如き見解をとつてゐる、すなはち

わが空軍は從來十數回にわたる南京空襲において一度たりとも軍事施設および軍略機關以外のものを目標に爆擊したる事實なく、この點は各國とも充分に認めてゐるところであるが、今後とも第三國の權益および國民の生命財產を尊重する方針に何等變りなきことは今次通告によつても明瞭である、さりながら南京は支那軍略の中樞である、我軍の作戰目的を達成するためには今後更に大規模の南京空爆を敢行するの必要に迫られるに至つた結果ときに流彈などが第三國人に對し萬一の危險を與へぬとは保障出來ないため、これ等第三國人の生命を最も安全ならしめる萬全の措置として豫じめ鄭重なる避難勸告を發するに至つたもので、右は刻下の現實に即し友好各國に對する最も適宜の措置と信ぜられる、しかして最近の情報によれば在南京各國大使館員は最近何れも大部分下關附近揚子江上の自國軍艦に避難して艦上で事務をとりつゝあり、すでに事實上南京市內から移轉してゐる模樣であるが、わが方としては今一應正式の勸告を發して萬全の措置をとり揚子江上の各國艦船とも下關上流の安全地帶に碇泊することを希望せるものである

白川橋修理完成 「松井橋」と命名

【上海廿日發國通】昭和七年上海事變に際し吳淞クリークにはわが○兵隊の手で立派な橋が架けられ、その名も時の軍司令官白川大將の名をとり白川橋と名附けられ爾來約六ヶ年間軍工路上の重要橋梁として、又吳淞附近住民に多大の便宜を與へてゐたが、今次の事變に際し支那軍はこの白川橋を破壞し去つたので、我○兵隊は吳淞占領と同時に乏しき材料をもつて晝夜兼行これが修理を行ひつゝあつたがこのほど以前にも優つた立派な橋が出來上り軍作戰上にも多大の便宜を與へんとしてゐる、軍でも緣起を祝ひ松井軍司令官列席の下に近く渡り初式を擧行名も改めて松井橋と名附ける事になつた、この架橋工事はこの前の白川橋を架けた健兒の兵隊が架設したといふ面白い因緣が生れ、松井橋の名も亦架橋責任者松井○隊長と松井軍司令官の名が偶然一致したといふ緣起のよいものであり、關係者一同も同橋の架設を大いに喜んでゐる

不時着機の僚友を救助す 我水上機、江上の活躍

【上海廿日發國通】十九日午後の空襲を終へ歸還の途についたわが一機は不幸にも江陰要塞附近の揚子江上に不時着を餘儀なくされた、陸上の敵は忽ち機關銃、小銃を浴せ來り彈丸は機の周圍に水煙をあげて落下する、これを逸早く認めたわが一水上偵察機は危險をものともせず遭難機の傍に着水しすばやく操縱者を移乘せしめ、不時着機を江底深く沈めた後敵の銃火を尻目に鮮かに離水、無事敵前救助を果して歸還した

落下傘の敵に 美し武人の情 南京空襲のエピソード

【上海廿日發國通】十九日南京空襲におけるエピソード

一、十九日午前の空襲で○機パイロット中島正大尉は見事敵の一機を擊墜した瞬間周圍を見廻すと僚機が敵に追ひかけられてゐる、機首を周して應援に向はんとしたが、其時既に僚機が敵機を擊墜し錐揉み狀態となつて火焰をはきながら墜落して行く間にパラシュートがパッと開いた、近寄つてみると黃色の飛行服を着た長身の敵パイロットが顏面に鮮血をあびながら搖れてゐた、中島大尉は○○銃の引金を緩めた、武人の情だ、戰鬪力を失つた敵を許してやる日本武士道の精華である

一、午後の第二回空襲において山下豊治中尉は南京郊外で發動機に故障を生じ辛うじて機を支へてゐるとき敵機三機が襲ひかゝつて來た傷つける得物を襲ふ如く敵は一機とあなどり鏖殺しにせんとしてか山下機を中心にグルグル廻り出した、四巴の空中戰鬪だ、もの〻五分も經つた時突然山下機の○銃が火を吐いた、命中し敵の一機は黑煙を引いてゆくではない、この逆襲に外の二機が慌てたじろぐ隙を見事にとらへ山下中尉は傷ける愛機を巧みにいたはりながら見事に根據地に歸り着いた、沈着と優秀な技倆を遺憾なく發揮したものである

海賊船饑え さ迷ふ 戎克の影もなく

【○○基地二十日發國通】帝國海軍に制壓されて支那海運界の生命線たる戎克の帆影も今は全くその跡を斷ち無數の戎克は內港深く錨を下して悲鳴を上げてゐる有樣であるが第○艦隊○○艦○○は十九日午後○○海に怪しき船影を認め直ちに追擊、臨檢を行つた結果多數の武器彈藥を發見した、右は北支の海を縱橫に荒しつゞけた支那名物海のギャング海賊船で、わが海軍の封鎖で獲物は全然なくなり空しく武器を抱いて暗夜の海上を小羊の如く迷ひつゞけてゐることが判明したので追放した

有田元外相歸國

【大連國通】九月初め來滿東部國境ならびに北支視察を了へた有田元外相は二十日天津丸で來連したが、廿一日熱河丸で歸國の途に就く筈で船中左の如く語つた

滿ソ國境綏芬河、牡丹江等を視察後北平、天津を見て來たが、治安も非常に落着き住民は皇軍の恩惠と軍規に信頼し安堵して業務に勤んでゐる、自分の外相就任說については何も知らない

ソ聯司法人民委員罷免

【モスクワ十九日發國通】ロシア社會主義共和國中央執行委員會は十六日附をもつて司法人民委員ニコライ・クルイレンコ氏を罷免し後任としてアントノフ・オウセジエンコ氏を任命する旨發表した、クルイレンコ氏は全ソヴイエト聯邦の司法人民委員を兼ねウルリツヒ氏、ヴイシンスキー氏等とならんで赤色法曹界の第一人者で、過去十年間各種の大裁判に重大役割を勤めた人物だけに今回突如罷免された事は肅正工作の手がお膝元の司法部內にも波及した證左として極めて注目されてゐる

日銀利下發表 廿一日より實施

【東京國通】日銀は廿日左の如く利下げを發表した

一、當座貸越およびコルレスポンデンス貸越利率、日步一厘引下げの一錢一厘以上とし九月廿一日より實施

陸軍特別大演習お取止

【東京國通】本年度陸軍特別大演習は本年十一月三重縣下を中心として擧行される豫定のところ、支那事變の關係でお取り止めと決定、廿日午前十一時陸軍省より左の通り發表された

本年度特別大演習は時局のためお取り止めの儀御裁可遊ばされた

南京政府の遷都 當分は行はず

【上海廿日發國通】十九日のわが海軍航空隊の大擧爆擊により混亂に陷つた南京政府は更に長谷川第○艦隊司令長官の外國大公使館に對する立退き勸告によりいよいよ遷都の氣運濃厚となつたが、蔣介石を中心とする南京政府軍政首腦は十九日以來緊急協議を重ねた結果、遷都を斷行するは國民に對する影響重大なるをもつて未だその時期にあらず但し要人は各自最大限度の自衞をなすことを申合せたと傳へられる

各地航空隊に 南京集結を命令 支那、首都防空に大童

【上海廿日發國通】南京政府は日本空軍の首都空襲を豫期し、十九日來晝夜兼行で防空設備の增强を急ぎ各地航空隊の南京附近集結を命じて廿一日正午以後に行はるべきわが空襲に備へて必死の防戰を試みんとしてゐる、しかして近く展開されんとする攻防空中戰の結果如何は首都南京の運命を左右するものでわが南京立退き勸告に對する第三國の態度と共に非常な緊張と關心が拂はれてゐる

平田、柿本(大每)特派員 奇蹟的に生還 土民の重圍から脫出

【北平廿日發國通】大每特派員平田外喜次郞(社會部副部長)、柿本勝(西部總局)兩君は○○部隊に從軍し十五日午前六時楡岱鎭を出發永定河渡河後消息を斷つてゐたが、十七日午後二時半柿本特派員は右手に重傷を受けくたくたに疲勞して楡岱鎭に生還、平田特派員はなほ消息不明で憂慮されてゐたところ同午後一時頭部に痛々しい打撲傷、背部に貫通銃創を負ふて足一ぱいに傷を受けながら文字通り萬死に一生を得て奇蹟的に生還した、兩君は十九日午前十時過ぎ前線で○軍を降り後方に引返す途中固安城附近の土民に狙擊されて掠奪に遭ひ柿本君のみは辛じて重圍を脫出曠野をあてもなく丸一日走り續けた後わが○兵隊の手に救はれたが、平田君は追跡して來た土民等に捕へられ固安南方西關城附近の敵司令部に拉致され後手に縛られた儘樹木に吊下げられて言語に絕する虐待を受け、十六日夜八時わが軍が砲擊を開始するや某兵は退却に際して銃殺しやうとしたが、僅かに身體を動かしたゝめ彈丸は背部を掠めて貫通したが、幸運にも生命を取止めそのまゝ死んだふりをして同城內の床下に隱れて居るうち十七日朝八時入城したわが軍に救出され楡岱鎭に歸着した、平田君はこの重傷を負ひながら元氣衰へず野戰病院で手當中で生命に別條はない

皇軍仁慈に感激 寶山縣城自治委員會から 軍司令官に感謝狀

【上海廿日發國通】砲煙彈雨の中に閉ぢこめられ、然も支那兵のあらん限りの暴虐を受けて最早死を覺悟してゐた寶山縣城住民五百名が皇軍の入城とゝもに救ひ上げられ、蘇生の喜びと感激を包み切れず去る十四日寶山縣城自治委員會を組織するとゝもに全住民の名をもつてわが軍司令官に感謝狀を提出した美談がある

寶山縣城は住民六千名、大地主十名の下に殆んど全部が米や棉を耕作してゐる平和な町だが、八月十一日支那軍が進入して以來女はさらはれ、青壯年の男は軍夫として牛馬の如く酷使され、しかも掠奪暴行の限を盡されたので惡虐非道に堪へかねた住民は續々と避難し日本軍の攻略開始の頃は僅かに五百名に減少してゐた、彼等は銃砲彈の恐怖と糧食の缺乏とに最早死を覺悟して投降勸告の際ももう動けぬ死ぬばかりだと拒絕して觀念の目をつぶり成行に任せてゐたが九月六日わが飯森部隊の入城するや住民達のこの慘狀を見て直ぐに溫い救助の手をさしのべ糧食を與へ病人をなほし親切にいたはつた、軍隊と云へば鬼畜の如く思つてゐた住民達は日本軍の軍規の正しさと親切に感謝感激措くところを知らず忽ちにして回生の喜びに充ち溢れた、しかも日本軍は縣城西側の田畑を住民に與へ稻や棉の收穫を許し耕作に從事せしめた、九月十二日宮崎部隊が交替入城したが同樣の親切を施されたので五百名の住民の感謝の念は一丸となり吳氏等有力者十名は寶山縣城地方委員會を組織して自治制を布くと共に全住民が心をこめた感謝狀を軍司令官宛に提出した

文明國軍隊の典型 諾威敎主感謝

【天津廿日發國通】わが○○部隊の薊縣に入城するや正義皇軍の恩威は支那民衆の謳歌するところとなつてゐるが、桃花堡のノルウエー福音敎會敎主ウイリイ・リドルフ師父は敎會に對するわが軍の溫情に感激し左の如き感謝狀を○○部隊長に寄せて來た

本日所用にて御地に參り候ところによれば閣下ならびにその宣敎師の申し述ぶるところ將士はノルウエー宣敎師ならびに當縣敎會に對し深甚なる御同情を寄せられ一方ならぬ御配意を蒙り居る由小生は玆にノルウエー敎會を代表し衷心より謝意を表し候、日本軍の軍規嚴正にして寸毫も犯さゞるに反し支那軍の暴虐は憤激に堪えざるところ、桃花堡に於ても過去五ヶ年間に支那兵の掠奪に遭ふことゝ再度に及び申し、これがため一週間前に日本軍が當城に入城の際は全く再生の心地致し、欣喜雀躍歡迎致せし次第に候日本軍將士の行動は文明國軍隊の典型とも申し得べくわれわれの深く敬服するところに御座候

一九三七年九月十七日 ノルウエー福音敎會 ウイリー・リドルフ

○○部隊長殿

我軍の戰術と戰果 英專門家激賞す

【ロンドン十九日發國通】北支及び上海における皇軍の迅速果敢な行動は每日英國新聞紙上に特大見出しで報道されこの一般の注意を惹いてゐる、この卓拔せる戰術と壓倒的戰鬪に對しては英國の軍事專門家も新聞も一樣に脅威と嘆賞の聲を擧げてゐる、南北戰況を最初から仔細に觀察してゐる某專門家は、十九日記者に對し次の如く語つた

過去六週間にわたる戰績を顧り見ると日本軍の卓越せる戰略は唯々感嘆の外はない、勿論日本軍は大砲、飛行機その他裝備の點で驚くべき進步を遂げてをり支那軍を壓してゐるが、それよりも日本軍が秩序整然一糸一戰々々前後相連絡して擊して行く全軍の指揮作戰は全く見事なものだ、さらに空軍に至つてはその活物凄く爆擊戰鬪作戰の大さは大したもので、支那軍が各國の最精銳機購入に技術の獲得に莫大な軍費を投じたのは何のためであつたか意味をなさない

なほ十八日北平發ロイテル報も日本軍の涿州包圍作戰は外國軍事專門家等も舌を卷いてゐると報じ、十九日の同紙上にも大きく掲載されてゐる

首都警察新官制 一日より實施

二十日國務院會議で懸案の首都警察廳官制一部變更の件附議決定され愈よ十月一日より實施される事となつた、新官制に依れば、從來首都警察の管下にあつた五警察署が新設される長春縣警務局に移し國都をめぐる環狀線から一キロ乃至二キロの地域を首都警察の管下に入れることゝなるので、首都警察は治安を國都の警察機關の充實に專念することゝなつたものである、右に關し鍋口首都警察副總監は次の如く語つて官制一部變更に依つて縣下の警察力が急に弱まる樣な事はない、人事も縣と良く連絡のとれるものを充てられるだらうから決して心配はない、地方行政機關と警察が一緒になるのは大局からみて本當であら

商況欄 二十日後場

株式相場 ●大連株式(短期) ●奉天株式(短期)

戰線實に百粁に亘る 涿州平野の大會戰

わが軍の大勝利に歸し……

北支の明朗化近し

【北平十九日發國通】戰線凡そ百キロに達した涿州平野の大會戰も前後五ヶ間にわたる戰鬪の結果全くわが軍の大勝利に歸し、敵の大軍は算を亂して西南方に潰走、かくてわが戰史に光輝ある一頁を加へ記念すべき涿州大會戰も支那軍に一大打擊を與へてまづ一段落を告げた、かくて平漢線中部戰線の戰場は南へ南へと移動することゝなつたが、支那軍はすでに全く戰意を失つてゐる、十九日朝敵は南方據地においてわが軍と一戰を試みんとしてゐるが、敗色もはや蔽ひ難く皇軍所期の目的たる北支の明朗化は今や漸くその曙光をみるに至つた

敗走又敗走の敵兵は徒步、トラック或は船により西南方或は南方に退却を續け、十八日來水西北山地に陣地を構築中と傳へられた敵の部隊もわが軍の追擊に耐へ兼ね、すでに潰走してしまつた

十九日朝來わが空軍は保定西北方廿キロの海城縣附近に敵の相當部隊が集結中なるを知りこれに猛擊を加へ、また保定北方約卅五キロ田村鎭附近を船により南下中の敵兵三、四百に對して猛射を浴びせ殆んどこれを潰滅した、かくて涿州平野は完全にわが手中に歸し、わが軍は敗殘兵の掃蕩を俟つて更に○○の敵を攻擊すべく勇躍前進中である

大同は平靜

【天津十九日發國通至急報】中央○○部隊の一部は十九日午前八時頃高碑店を蹴散らし二重の城壁を繞らし天嶮を誇る大同城に堂々入城して以來、悽慘なる光景を隨所に見せてゐる

城内の治安はわが軍の手により殆ど復活し、戰禍を避けて避難してゐる城内外の住民は戶毎に日の丸を揭げて大いに親日振りを示してゐる、城内のメインストリート無定街は店を開き人通りも平常と殆ど變りない、しやなりしやなりと散步する大同美人がゐたりして數日前まで支那軍閥の宣傳により抗日のみこれ事として居た大同城内は皇軍の姿に抗日の惡夢から醒め、限りなき愛嬌を振撒き非常な親日空氣が漲つてゐる

安居樂業の滿洲國を慕ふ

（◇）軍閥の秕政に喘ぐ豐鎭民衆

【豐鎭十九日發國通】豐鎭攻略のわが千田部隊は約二萬發のダムダム彈を鹵獲したが、之により敵は戰鬪中卑怯にも國際法上許すべからざるダムダム彈を使用してゐたこと明白となつた、敵の主力は馬虻春の率ゐる綏遠軍第一旅で一般から強制的に徵募した兵卒ばかりで百廿名の捕虜の中には僅か十六歲の兵卒も混つてをり「吾々は無理に兵隊にされたのだ、日本に抵抗する意思は毛頭なかつた」と涙を流してゐた、綏遠軍當局では今次事變勃發以來盛んに抗日侮日の傳單をつくつて綏遠の門戶に當る豐鎭地方民衆に抗日意識を植付けるべく努力してゐたが、民衆中には革命前の帝制支那を慕ふものが多く、豐鎭に入場した日本軍に對し「宣統皇帝は日本の援助で滿洲國皇帝になつてゐるさう、であるが、滿洲國民はさぞ安樂に暮してゐることであらう、革命後の吾々は一年續いて落着いた暮しをしたことがない、この地方も日本の扶けで滿洲國のやうな國家を作つて貰ひたい」と軍閥の秕政下にある自分達を歎いてゐた

夏服で出た作戰軍 豐鎭にて冬支度

【豐鎭十九日發國通】大同の北方に連なる小山塊群をつまさきあがりに凡そ八里の難路を越えると綏遠と山西を劃する省境線の綏遠の關門豐鎭だ、城壁は永年の風雨に朽ち崩れて既に望樓のみが點々として殘つてゐるのみだ、この邊りから以北は廣く蒙古平野を想はせる比較的平坦な丘陵地帶である

夜と晝との溫度の差がいよいよ激しく海拔の高さを思はせる、朝方はひどい濃霧だ、わが軍が綏遠軍と激戰を交へたとき豐鎭一帶はむせるやうなひどい濃霧で、敵も味方も共に廿米位の近距離まで接近して銃火を交へた程だつた、夜は身體が凍るやうに寒い、夏服で出て來たまゝの我將兵は十九日漸く防寒具が到着して大喜びではや支度にかゝつた山野に轉がつてゐる支那兵の死體には鳥が幾百とも知れず眞黑に群つて腐肉をつゝいて

陣中の雅懷

風蕭々兮易水寒 壯士一去又不還

中秋明月下わが將十月見の宴

【北平廿日發國通】遂に皇軍の占據するところとなつた易縣は山西に通ずる要地にして燕の太子が寵臣荊軻を見送り風蕭々兮易水寒壯士一去又不還と吟じた易水は町の近くを流れてゐる、折しも中秋の明月易水の流れに映える月光、明るくわが將士はこの詩を高吟しつゝ士氣いよ〳〵盛んなり

【張家營廿日發國通】去る十四日午後行動を開始して以來わが軍は泥濘を衝いて豪雨下の白兵戰に凡ゆる苦難を征服しつゝ進軍また進軍、十九日張家營に宿營した、附近にはなほ敗殘兵の出沒するあり、置去りを喰つた敵の軍馬が主を慕つて彷徨ふなど激戰の跡を思はせるものがあるが、この夜後方より久振りに大行李が到着一同始めて食事らしい食事にありついて大喜び、折柄中秋の明月に部隊長以下月見の宴を張り功名話に花を咲かせた、支那軍の壓迫を恐れて農民はまだ殆ど高粱を刈らず、その間に點在する民家からは哀調を帶びた驢馬の嘶きに陣中將士の感慨はうたゝ無量だ

江南の秋を飾る

重傷の身を擔架に托し 尚も部隊を指揮

勇猛！怡土、小金兩部隊長

【上海十九日發國通】進め進めと擔架の上で軍刀をかざし常に陣頭に立つて部下を指揮する猛將二人があつた、一人は○○部隊の怡土隊長、今一人は小金隊長だ、怡土隊長は去る八日寶山縣附近の戰鬪において脚部に敵彈をうけたが、重傷に屈せず敵陣地に斬込み、數名をなぎ斃し、又小金隊長は楊行鎭攻略戰に太腿部に貫通銃創を二發うけつゝも敵が賴みとするクリークを部下將士と共に泳ぎ渡つて之を擊退し楊行鎭占據を容易ならしめた何れ劣らぬ猛將で部下將兵が後送を勸めるのを退けて死なば諸共江南の華と散らんと松葉杖にすがり、或は擔架の上で臥たまゝ部隊を指揮して、敵陣地に突入、涙ぐましき奮戰を續けてゐる、關ヶ原に勇名を謳はれた大谷刑部にも比すべきこの行動に全軍の士氣いよいよ振ひ、われらが隊長を擊たすなと兩部隊將兵は奮戰を續けてゐる

忠烈無双

梶原一等兵の臨終

【上海十九日發國通】十八日午後七時○○海軍野戰病院の手術臺の上で刻々衰へて行く氣力をふりしぼつて「天皇陛下萬歲」をかすかに唱へつゝ息絶えた兵士があつた、多數の戰死傷者を取扱つた多野軍醫も男泣きに泣き並居る看護婦達の慟哭の聲が洩れて來るこの忠烈無比の兵士は去る八日月浦鎭の攻略戰に名譽の戰傷を遂げた淺間部隊○○隊梶原清一等兵だ、海軍病院では同一等兵のこの悲壯な臨終に感激し前例を破つて陸の強者の事蹟を病院永久に病院誌に止め海の丈夫等の模範とすることゝなつた、病院誌に殘る事蹟は左の通りである

梶原清は九月十八日右太腿部壞疽の診斷の下に同太腿部切斷の豫定で午前五時半頃手術室に移されたり、しかるに容體頓に惡化し意識比較的明瞭なるも脈搏微弱呼吸切迫し危險に瀕したるをもつて切斷を取り止め切開手術を執行同六時終了、臥床せしに以後の醫師の治療も效なく容體次第に惡化し、遂に臨終迫れり、本人も身の臨終近きを知り軍醫の勵ます言葉の下より「軍醫殿、殘念ですが私も駄目です」と苦悶の中より左の言葉を殘せり

一、國許の母によろしく
一、大阪の兄によろしく
一、淸は御國のために喜んで死にます、他に何も申すことはありません

容體いよ〳〵惡化し苦悶加はれるも一段と努力の樣子見えたと思ふ時「天皇陛下萬歲」をかすかに唱へつゝ午後七時半臨終、一同泣かざるはなし

軍工路の重要橋梁 白川橋の修理完成

「松井橋」と命名す

【上海廿日發國通】昭和七年上海事變に際し吳淞クリークにはわが○兵隊の手で立派な橋が架けられ、その名も時の軍司令官白川大將の名をとり白川橋と名附けられ來約六ヶ年間軍工路上の重要橋梁として、また吳淞附近住民に多大の便宜を與へてゐたが、今次の事變に際し支那軍はこの白川橋を破壞し去つたので、わが○兵隊は吳淞占領と同時に乏しき材料をもつて晝夜兼行これが修理を行ひつゝあつたがこのほど以前にも優つた立派な橋が出來上り軍作戰上にも多大の便宜を與へんとしてゐる、軍でも緣起を祝ひ松井軍司令官列席の下に近く渡り初式を擧行、名も改めて松井橋と名附けることになつた、この架橋工事はこの前の白川橋を架けた健兒の兵隊が架設したといふ面白い因緣が生れ松井橋の名も亦架橋責任者松井○隊長と松井軍司令官の名が偶然一致したといふ緣起のよいものであり、關係者一同も同橋の架設を大いに喜んでゐる

我が軍の戰略

外國の專門家嘆賞す

【ロンドン十九日發國通】北支及び上海における皇軍の迅速果敢な行動は毎日英國新聞紙上に特大見出しで報道され一般の注意を惹いてゐる、この卓拔せる戰術と壓倒的戰勝に對しては英國の軍事專門家も、新聞も一樣に驚威と嘆賞の聲を擧げてゐる南北戰況を最初から仔細に觀察してゐる某專門家は、十九日記者に對し次の如く語つた

過去六週間にわたる戰績を顧り見ると日本軍の卓越せる戰略は唯々感嘆の外はない勿論日本軍は大砲、飛行機その他裝備の點で驚くべき進步を遂げてをり支那軍を壓してゐるが、それよりも日本軍が秩序整然一戰から一戰と前後相聯絡して進擊して行く軍の指揮作戰は全く見事なものだ、さらに空軍に至つてはその活動物凄く爆擊戰鬪作戰の大膽さは大したもので、支那空軍が各國の最精鋭機購入ゝ技術の獲得に莫大な軍費を投じたのは何のためであつたか意味をなさない

なほ十八日北平發ロイテル電報も日本軍の涿州包圍作戰には外國軍事專門家等も舌をまいてゐると報じ、十九日の新聞紙上にも大きく揭載されてゐる

讀者の領分

投稿歡迎 中傷不可

寬城子父兄へ注意

九月十九日寬城子戰鬪記念日に同地記念碑を訪ねて陣歿勇士の靈前に額づく新京市民として誠意ある人々も少くなかつた。麗はしき情景の中に小學女生徒が五六才の妹の手を曳き勇士の墓前に佇んで居る光景も心ある者の心を打つた而して寬城子の寒村に珍らしく人足繁き秋の日が來たのであつたが玆に遺憾に堪へなかつたのは同碑の番をする人の女の子十歲か十一二歲の子供が碑の後の日陰に今日の中秋節を綺麗に着飾つて靜かに遊んで居る滿人女の子をしつこく追ひ立て大きな石をなげつけて『ツオー〳〵』と威猛高になつて居たことである。青年女子二人が同じく番をしてその儘にして顧みぬ心なき業であり滿人子供等は相當な家庭の子供であつた。罪なきものを虐むることゝ通州事件を思ふべし、注意すべし。（一市民）

石油値上げ

朝鮮も一齊に

【京城支局】鮮内石油業者は既報の通り内地に追隨、石油類一ガロン當り八錢の値上げを行ふことに決定し來つたが總督府でも種々調査の結果、此の際鮮内石油類の昂騰は亦已むを得ずと認め内地同樣の値上げを承認十六日から一齊に内地同樣の値上げを斷行した從つて今回の値上げで本春の五錢値上げを加へ鮮内石油類は一ガロン當り十三錢の値上げとなつた

愛國金釵會

銃後の活躍！

【京城支局】半島婦人銃後の愛國團體として目覺しき活動を續けてゐる愛國金釵會の本月十五日迄に募集した國防獻金總額は金釵十六本、銀釵一本、金製耳搔三本、金指環四個、白金指環二個この見積換算千八百二十七圓現金三千四百十七圓計五千二百四十四圓と言ふ巨額に達し國防獻金或は派遣將兵並にその家族の慰問金に夫々獻金して居り關係當局でもその活躍に痛感してゐる

鮮銀支店内に 地金買入所

【京城支局】朝鮮銀行では朝鮮產金令の實施に伴ひ地金持込の增加を見越しこれに備ふるため地金買入所を現在の本店の外に平壤支店に設けたが更に大邱支店内にも設置し地方における地金の買入れにも支障なからしめる事になつた

馬車内の忘れ物

▲九月七日（灰色洋服上身内入印鑑及萬年筆等在中）大經路警察署保管▲九日（ハトロン紙包カミソリ古衛生衣一枚及印鑑山口、洗袋在中）同▲十日（紅紙包子供吊）同▲同日（紅色財布内入質札二枚）同▲同日（白ハンカチ包女靴二足）同▲十一日（鐵板門牌六枚）同▲十二日（黑色白靴一足）同▲十三日（風呂敷包氣枕布製カード）同

駐滿海軍部扱 慰問獻金

△五十圓—奉天青葉町市場組合員一同△三百圓—新京大興公司從業員一同△十圓—鞍山財津正生△百圓—赤峰國防婦女會分會△五圓—在間島帝國總領事館内朝鮮總督府派遣員一同△百三圓五十錢—齊々哈爾帝國總領事館（八月十七、八日映畫館共榮館入場者一九七名の醵出金）△一千圓—安東滿鮮杭木會社々員一同△十圓—安東工藤利八△五圓—哈爾濱志摩光夫△十圓—哈爾濱北滿產業組合從業員一同△二十五圓—哈爾濱アパート經營者井上ヒサ子△二圓—哈爾濱アパート滿人從業員一同△二十圓—哈爾濱天理教一如會員一同△十圓—哈爾濱田中勝藏△五十圓—哈爾濱天理教一如會員一同△二圓五十錢—同水原テル子△廿圓—同天理教一如會員一同△五十圓—同天理教一如會員一同△六十五圓—同天理教一如會員一同△四十五圓—同滿洲杭木會社出張所員一同△百圓—哈爾濱木材會社員及滿人苦力一同△百圓—同加藤勇△八圓六十錢—呼蘭縣昭和日語學院滿人生徒一同△百七十六圓十五錢—新京三曲各流聯合會員一同（獻金募集演奏會會費）△四百六十圓（三十箱）—新京河本辰彌△慰問袋（九十三袋）三箱—新京海友會△慰問袋（百八十袋）十箱—大日本國防婦人會新京康德分會△千人縫（七）菓子（二）—新京室崎靜子外一名△慰問袋（百九袋）—大新京日報社へ各人より寄贈のもの△御守袋六百個—滿洲帝國々防婦女會昌圖縣分會

國防獻金

關東軍扱ひ

△三百圓—撫順競馬俱樂部△三百圓—撫順堤八郎△二百圓—同大倉土木株式會社詰所社員一同△五十四圓十錢—同山口タクシー運轉手一同△十二圓五十錢—同篠リノ△十二圓五十錢—同中島カジ△十圓—同竹熊テル子△十圓—同佐藤リン△十圓—同益田ソヨ△十圓—同市川フサ△十圓—同大坪美智子△十圓—同野見山セイ△十圓—同千葉留八△三圓—同吉柳貞雄、坂井文次郎、山口重三△十圓—同須井久吉△五圓—正木軍雄△五圓—湯淺長太郎△十圓—齊加茂△五圓—藤本憲一外七名△十圓—撫順醫院内某婦人二名△三圓—同新屯小學校桓田ナル△三名△八十四錢—同小勝田博△二圓六十七錢—同若杉ミキヱ外二名△三十圓—新京湯屋組合△五十圓—新京東濱武△四十圓—鷄冠山鈴木同業組合ソノ、若松サヱ、五島ミチ、古賀チヨ、和田コン、松田ヨネ、松浦タツ、佐藤トミ△七十圓—新京組合員、青年會員一同△五十圓—營口楊甫羅△三圓—營口朴基監一同△二圓—同斗伊△一圓—趙元在△五圓—同鈴木利三元△金樂道△五圓—營口本願寺婦人會貞△十圓—同元山一夫△二十圓—同森永ヒデ外女九一△五十錢—撫順松尾駒連一同△五百圓—撫順松尾駒太郎△十圓—久我季雄△五圓—松尾外△三圓—濱中範二△四三圓—山本茂弐△四十九圓—四十七錢—呂紳穆外滿人職工一同△百八十一圓八十錢—撫順立正愛國青年會（街頭募集金）代表木村惠門

○商業登記

●支配人選任、一、支配人ノ氏名住所、鴨下文雄新京日本橋通六十二番地、一、主人ノ氏名住所、勝又文彦大連市榮町三十七番地ノ三、一、主人ノ營業洋服類ノ仕立並ニ販賣、一、支配人用ユヘキ商號大連市勝又洋服店新京出張所、一、支配人ヲ置キタル場所、新京日本橋通六十二番地●株式會社木村洋行變更（支店）一、昭和十二年七月二十日大連市西通三十五番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス大連市磐城町二十番地、一、同日取締役吉田太郎ハ辭任シ左者同日取締役ニ就任ス、菊地岩雄大連市磐城町二十番地、一、同日左者監査役ニ就任ス勝忠造東京市澁谷區笹塚町千二百十番地、●昭和十二年七月三日當館内ニ支店ヲ設立シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲シタリ一、商號帝國海上火災保險株式會社一、本店東京市麴町區大手町壹丁目六番地六、一、支店大阪市東區北濱四丁目參拾八番地、神戶市神戶區榮町通參丁目拾參番屋敷橫濱、市中區本町四丁目參拾番地、名古屋市中區南大津町壹丁目九番ノ貳、京都市下京區四條通烏丸東入長刀鉾町貳拾番地ノ壹、滿洲國新京[illegible]町參丁目貳番地、一、目的一、保險ノ種類及營業ノ範圍一、海上保險、傷害保險、火災保險、運送保險、信用保險及航空保險、自動車保險並ニ以上各種保險事業ヲ營ムヲ以テ目的トシ營業ノ範圍ハ日本帝國及諸外國トス、一、設立年月日明治貳拾六年九月貳拾七日、一、資本總額金壹千萬圓、一、壹株金額金五拾圓、一、各株拂込額金十二圓五十錢、一、公告方法本店所轄區裁判所ノ登記公告ヲ爲ス新聞紙ニ之ヲ揭載ス、一、取締役ノ氏名住所阿部壽準東京市豐島區池袋三丁目千五百六十三番地、林李彥東京市下ヶ谷區大藏町千八百三十六番地ノ一戶、倉惣太郎東京市豐島區四巢鴨二丁目二千五百二十九番地、菊地文吾東京市大森區新井宿四丁目千百一番地安田善五郎東京市牛込區余丁町一百番地、安田善衞東京府南多摩郡日野町六字豐田千八百四十七番地三宅龜三郎兵庫縣武庫郡精道村芦屋字寺田十一番地、倉田庫太東京市大森區桐里町五百十五番地、一監查役ノ氏名住所南完爾東京市杉並區高圓寺四丁目五百五十五番地、森田甫東京市荏原區戶越町百十番地、佐々田三郎東京市京橋區築地一丁目一番地

右昭和拾貳年八月拾日登記

●合資會社設立一、商號合資會社カネタ製麵麴工場、一、本店新京特別市西四馬路貳拾七號、一、設立年月日昭和拾貳年八月七日、一、目的麵麴製造販賣、一、社員ノ氏名住所出資種類價格及責任、勞務無限高倉淺吉新京特別市西四馬路貳拾七號、金七千圓有限厚海半次新京曙町四丁目拾四番地、金壹千圓有限高倉ハナ新京特別市西四馬路貳拾七號、一存立時期昭和拾貳年八月拾日迄

●合資會社額一號解散、一、昭和拾貳年八月拾壹日總社員ノ同意ニ因リ解散

右昭和拾貳年八月拾貳日登記

●株式會社三中井變更（支店）一、取締役中江準五郎ハ昭和十二年六月二十八日死亡す

右昭和十二年八月十三日登記

●合名會社湖名ビル變更、一、社員長崎太七ハ昭和十二年八月十日其持分全部ヲ長崎太啓夫ニ讓渡シテ退社シ長崎太啓夫ハ之ヲ讓受左ノ通入社す、金壹萬圓長崎太啓夫瓦房店昌隆街十番地、一、前同日總社員ノ同意ニ因リ解散ス、一、淸算人ノ氏名住所、加藤庄五郎新京特別市安達街五一〇號

右昭和十二年八月十六日登記

●昭和十二年七月二十五日當館内ニ支店ヲ設立シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲シタリ、一、商號合資會社積山洋行、一、本店奉天浪速通二十七番地、一、支店新京富士町參丁目四番地、一、目的一、室内裝飾品、毛織物、敷物、建築材料ノ販賣二、洋家具ノ製作並販賣、三、右ニ附帶スル一切ノ業務、一、設立年月日昭和拾貳年七月貳拾五日、一、代表社員淺田甚太郎、一、社員ノ氏名住所出資種類價格及責任、金四萬二千圓無限淺田甚太郎奉天浪速通貳七番地、勞務無限前田外來也新京富士町參丁目四番地、金壹萬圓有限淺田實同所、金壹萬五千圓有限淺田貞奉天浪速通貳拾七番地、金八千圓有限淺山春雄同所、一、存立時期設立ノ日ヨリ滿貳拾ケ年

●合資會社仁和殖產公司解散、一、昭和十二年八月拾貳日總社員ノ同意ニ因リ解散、一、淸算人ノ氏名住所、瀨下金一蓬萊町一丁目九番地

右昭和十二年八月十七日登記

●合資會社設立、一、商號合資會社小河商行、一、本店公主嶺數島町一丁目五番地、一、目的特產物並ニ麻袋賣買及之ニ附帶スル業務一切、一、設立年月日昭和十二年八月十五日、一、代表社員小河元治、一、社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任、金一萬五千圓建物四棟此價格國幣三萬圓無限小河元治公主嶺數島町一丁目五番地、金五千圓有限小河せい同所、一、存立時期設立ノ日ヨリ二十箇年

●合資會社設立、一、商號鮮滿興業合資會社、一、本店新京東一條通三十二番地、一、目的朝鮮及滿洲國に於ける農地開拓、林業開發及同種ノ委託經營、並ニ之ニ附帶スル業務一切、一、設立年月日昭和十二年八月十日、一、代表社員尹弘燮、一、社員氏名住所出資ノ種類價格及責任、金二十萬圓無限尹弘燮京城府齊洞町五十三番地、金貳拾萬圓無限金敏應忠淸南道天安郡葛田面住田里參百四拾五番地、金拾萬圓有限安孝一參京城府内資町貳拾八番地、一、存立時期設立ノ日ヨリ參拾年

■日本火災保險株式會社變更（支店）一、昭和拾貳年七月拾七日大阪市西區京町堀上通壹丁目壹番地ノ支店ヲ左ノ地ニ移轉ス、大阪市西區靭北通四丁目拾八番地

右昭和十二年八月十八日登記

●商號新設、一、商號大新ホテル、一、營業種類宿屋營業、一、營業所新京特別市新發路一〇四號、一、商號使用者ノ氏名住所、大道熊一、新京東二條通五十五番地

●商號新設、一、商號大和新館、一、營業種類宿屋營業、一、營業所新京東二條通五十五番地、一、商號使用者ノ氏名住所、大道熊一新京東二條通五十五番地

●合資會社標福商店解散、一、昭和十二年八月十八日總社員ノ同意ニ因リ解散

右昭和十二年八月十九日登記

在新京日本帝國總領事館

うつかりすると眼を痛めます

知つてをくべき豫備知識

燈火親しむ秋

大氣は澄み冷氣は肌にしみる秋の夜は、誰しも讀書氣分に誘はれます。讀書三昧の妙境は、誠に秋の夜がもたらす贈り物の一つでなければなりません。併し興にかられて眼を惡くするやうなことがあつては大變ですそこで眼の衞生といふ立場から、讀書に關する御注意を申上げて見ませう。

構造からいつても眼は凹所にあつて睫毛がこれを保護してゐるワケですから、上から來る光線は直接眼を刺戟せず、衞生的に見てもよいこととなります。若し左上から來る光線では影が出來て不便だといふのなら、左右兩側から光をとればよいのですがこれは少し贅澤かも知れません。

來電燈から放つ光力は眞下へ向ふ力より横へ向ふ力の方が強いものですから横へ放つ光を下方へ向けることが最も有效な利用法だといはなければなりません。それ故笠は側面が光を通さず上方へ反射するものをよしとするので普通見かける淺い皿の様な笠は、上方へ行く光線を反射させることができても横へ行く強い光は逃げてしまひますから經濟的に見ても好ましくありません。普通あるものでは乳色の半球狀の饅頭笠がよいでせう

笠

笠は光りを反射させるのに重大な役目を持つて居りますから一つの裝飾品としてのみ考へるべきではありません。元

壁

最後に壁の色は灰白色が薄綠が最も理想的で黑は光線を吸收して部屋が暗くなり白は餘り反射しすぎて眼を刺戟するからよくありません。我が國のスタンドは一體に背丈が低く機上の本を開いても近い部分が明るくて遠くなりますから眼に光線が直射しない程度で成るべく背丈の高いものを選ばなければなりません。

電球

これは近頃漸く一般化され來た艷消電球がよいと思ひます光を晝の明るさに近づけると共に眼にやはらかく當ります から衞生的です。ただ艷消電球を選ぶのに電球の外面からつやけししたものは埃塵埃がつき易いので內面から消したものをとりたいと思ひます更に近來晝光色電球といふのが出來ましたが、値段は高くとも理想に近いと思ひます。

光源と眼の距離

經濟的に光力を考へますと、弱い燭光で出來るだけ電球を接近させることが有利なのですが、人工光源は太陽と同樣熱を伴ひますから、光源を餘り近づけると明るさはましても、光源から出る熱を頭や眼に受ける結果衞生的には惡いのです。甚だしい場合には、眩暈、嘔吐、充血を起しますから、距離の長短は是非考へに入れて頂きたいものです。今その理想的距離をあげますと

三〇ワット　一米
四〇ワット　一・二米
五〇ワット　一・五米
六〇ワット　二米

となりますが併し如何に採光上の理想にかなつても、眼の屈折異常で、眼鏡を使用してゐるものは、時に長時間細いものを見ぬこと、及び姿勢を正しくすることを忘れてはなりません。なほ光源の位置は理想的にいふと以上の距りを保ちつゝ左にから來るのをよしとします。太陽の光線に近い狀態となるからです。眼の

銃後の花・娘子軍・・

鈍重な空氣と香水の人いきれとがホールいつぱいに擴かつてゐる雰圍氣の中に輕快なトロットや緩調なブルースのジャズの流れに乘つてステップを踏む彼女達・・ダンサー連も支那事變となり皇軍出動暴支膺懲等國事多端なこの頃非常時日本の銃後の護りにその綺麗なスタイルを投げだして立ちあがつた。今東京全市のダンスホールのダンサーは全部愛國婦人會に入會してゐて銃後の女性として活躍してゐる。

雨の日のお化粧は平常より明るく

雨具この調和も忘れてならぬ

雨の日　太陽の光線がにぶいために普通よりは明るいお化粧を致します。先づ

（白粉の色）も　オークルの勝つたのは餘計に黑つぽく見えていけません何時もよりは白身を勝たせたものにします。併し厚化粧でなく薄くつけて下さい。頰紅も明るい色がいゝでせう。一番注意したいのは

（アイシヤドウ）をなるべく控へて頂くことです。どうしても目のお化粧をなさるなら、紅で薄く致します。すべて雨の日は常よりは一入活々したお化粧をなさる心掛が必要です

雨の日に缺かせない雨傘やコートも、一寸した選び方でお顏や姿に大きい影響を與へます。

（蛇の目）にも洋傘にも、近頃は各種の色ものが出來てをりますが、その中の綠系統のものは最もひどく影を反射して顏の色を蒼く見せます。やはり昔からある紺、澁、黑、薄墨の四色が陰影を投げることが一番すくなくて顏うつりがよろしい。若い人には紫がゝつた紺、薄墨はやゝ粹好みですが顏を明るく見せます。中年すぎ及び殿方には黑と澁が向きます。模様のあるのは人柄を惡く見せますからお止しになるやう。尙ほ雨傘はつぼめた時の

（傘の上塗り）は手を黑く見せますから、黑カタメ塗りで骨の尖きが朱塗りになつたのが好もしいです。洋傘も同樣に黑が無難ですが、若い方は玉虫とかえんじ位がいゝでせう。

（コート）も綠はいけません。できるなら傘と同色系統にして頂きたいと思ひます。

料理獻立

チヤオハン

【材料】（一人前）
豚肉　三〇瓦（八・〇匁）
蟹罐詰　一五瓦（四・〇匁）
グリーンピース　五瓦（約一・三匁）
玉子　一五瓦（四・〇匁）
葱　三〇瓦（八・〇匁）
油　一〇瓦（約二・七匁）
胡瓜　五〇瓦（約一三・三匁）

以上にて蛋白質一二・七瓦、カロリー一九三となり無機質ビタミンも完全であります。

豚肉を丸のまゝ湯煮して切り油でいため味をつけて炒り、葱、蟹、グリーンピースともに御飯を炒りませ胡瓜に酢味をつけて添へます。

鯉汁

【材料】（一人前）
鯉　二八瓦（約七・五匁）
味噌　三〇瓦（八・〇匁）
馬鈴薯　一五瓦（約三・七匁）
葱　三〇瓦（八・〇匁）
淺漬　少量

以上にて蛋白質一二・九瓦、カロリー一九〇となり無機質ビタミンも完全であります。

みそ、葱の順に入れ、おわんに盛つてから唐辛子、胡椒をあしらひます。

けふの番組

【M・T・C・Y　新京放送局　廿一日（火曜日）】

『朝』

六、二五　ニュース（東京）
六、三〇　ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
六、五〇　中等滿洲語講座（大連）　講師　秋父固太郎
七、一五　朝の音樂（大連）
八、〇〇　氣象通報
九、〇五　經濟市況（東京）
九、三〇　家庭講座
一〇、〇〇　經濟市況（東京）
　狂犬病豫防週間施行に就いて　關東局警務部衞生課　關東局技手久米定一
一〇、二〇　料理獻立
一〇、二〇　家庭メモ
一〇、四〇　經濟市況（大連・新京）

『晝』

一一、三五　經濟市況（大連）
一一、四〇　經濟市況（東京）
一一、五九　時報（東京）
〇、〇五　晝の演藝（レコード）
〇、三〇　ニュース（東京・新京）
一、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、四〇　ニュース（東京・新京）
四、〇〇　經濟市況（東京）
四、三〇　經濟市況（大連・新京）
四、三五　天氣概況
五、二〇　ニュース（鮮語）
流行歌（鮮語）

『夜』

六、〇〇　伴奏　卓星綠
　一、白島會音樂部
　一、京城の歌
二、流浪の曲藝師
三、洛東江の哀想歌
四、曠野の月夜
五、浦口の思ひ出
六、涙の幌馬車
六、〇〇　子供の時間（大阪）
　童謠劇　月　安田利一作
　大阪童謠劇研究會
　BKコドモ唱歌隊
六、二〇　大阪ラヂオオーケストラ
　コドモの新聞（東京）　村岡花子
六、二五　講演　農家の時間
　華北水文氣象と華北水利に就いて（大連）
　南滿工專教授　淺野好
七、〇〇　ニュース（東京）
七、三〇　ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
　講演（天津より）（天津陸軍病院より中繼）
　馬賊攻擊　砲兵大尉　赤榮部隊　水口照夫
八、〇〇　吹奏樂（廣島）
　呉鎭守府海軍々樂隊　指揮樂長　山田榮
　一、序樂　ワルレンスタインの陣營　ケルリング作曲　外
八、三〇　ハープとフルート（東京）
　第一ハープ　加藤敬子
　第二ハープ　加藤晴康
　フルート　小口雅章
　（一）ハープ獨奏（加藤敬子）
　一、パツサカリア
　變ニ長調ヘンデル作曲　外
　（二）ハープとフルート
　一、曉　マスオー作曲　外
　三、ハープ二重奏　シューバート作曲
　軍隊行進曲　服部正編曲
八、五五　浪花節（東京）　上州長脇差　閻魔堂十人斬　木村松太郎
九、三〇　時報・ニュース（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、一〇　ニュース再放送
一〇、三〇　北滿の時間（哈爾濱）
一一、〇〇　滿語ニュース・講演・音樂
　アナウンサー佐藤（朝）宮岡（晝）上森（夜）

新刊紹介

現代（十月號）

◇何と云つても支那事變中心であることは否まれないが、武藤貞一氏の「空中戰絕對論」「四權威執筆の特輯―支那はどうなる」三島康夫氏の「ソ聯は何を畫策してゐるか」など特に溌剌たる精彩を感じる。

◇特輯「時局の話題」が思ひの外にストリー・ヴリユウに富めるのに感心させられる。內容は大體次の通りである。「上海陸戰隊とはどんなものか」「外國軍人顧問は支那で何をしてゐるか」「支那の財政は何處まで持耐へられるか」「米國が中立法を發動すればどうなる」「臨時議會でどんなことが決められたか」「北支の資源如何？」「支那共產軍の戰術」等々、雨宮中佐支那縱橫談も一寸看過し得ない。

雄辯（十月號）

◇「雄辯」十月號は、久しぶりで元氣一杯なところを見せてゐる。

◇「支那事變大特輯」は壯觀、別册附錄に「ポケット軍歌集」を奉發したあたり「雄辯」がこゝをせん途の努力ぶりが窺はれるといふものだ。

◇「雄辯」らしく、「出征兵士歡送の挨拶」數篇を載せたのも時節柄と云へるが、應用自在とあるから、これを參考にいろいろ工夫するもよからう。

◇頭山滿翁の「孫文と蔣介石」は事變特輯以外にあつての時節柄の好讀物だ。

◇スポーツに早大若原と、元慶應の選手小野三千麿君の對談會が發表されてゐるが、リーグ戰華やかなる時に、これも好讀物の一たるを失はぬ。

◇台灣南方の孤島「紅頭嶼」探險記は、傳奇に富ちた怪記行だ。

◇サービスの多い誌面に、更に軍事小說傑作集の特輯は、この雜誌の勉强ぶりが偲ばれ、よい。山中峯太郞氏の「子に向ける高粱」など、適かに光つてゐる。

新京區公示第一九號
范家屯區公示第十號

地方委員會委員及豫備委員ノ選擧ニ關シ總裁ニ於テ左ノ通社告アリタルニ付右公示ス

昭和十二年九月十八日

南滿洲鐵道株式會社
新京支社地方課長事務取扱　菅野誠

記

社告第二百十九號
昭和十二年十月施行スヘキ地方委員會委員及豫備委員ノ選擧ハ之ヲ取止メ現地方委員及豫備委員ノ任期ヲ行政權移讓ノ日迄延長ス

昭和十二年九月十一日
總裁　松岡洋右

學藝

秋夜雜感

泉 芳雄

熱烈さのない、非常に非國民的の様な氣がして、ペンも走り澁るのだけれど、此頃新聞の事變記事は大きな活字のみ追うて拾ひ走り讀みする程度で、こまい記事は全然讀む興味も氣力も起らない。

戰線ルポルタージュと言ふのが、內地各新聞が競つて載せてゐるが、敵前二百米、從軍記者が、彈丸を呑み、砲煙をかぶつて突撃し、秋夜、退いてペンするルポルタージュとしては、新鮮味も肉迫性も通り一ペンのもの、二度三度更にこれはと云ふのにぶつからない。

この世代こそ、冷靜に時代の推移と、裏の面貌に關心と凝視を怠つてはならない。としつこく悟れと自分に言ひきかせてきたが……。

そんな氣持の向け方が、いつもギヤア〳〵言ひまくる、酒の場所でも、ひつそりかくれる様にして、赤い耳にけだものの感覺を集めて、流言雜口に、聞き洩すまいの姿態をとらせる。

或る食道樂の女が曰くに、「私ね、いま鰹節を買つて、ためてあるの……。腹に一番もつんだつてね。そして、一朝事あらば、歸りやしないわからなつたら。酒の興で、ハハハと大きく笑つてしまつたが、笑へないものが後味と殘つて、冷たくシャツにしみ殘つてしまつた。

『世界の新しい歴史の第一頁が今將に開かれつゝある』ことも『戰爭は世紀の進歩的新しい道德である。』ことも、理論としても發展し、興味あり、關心事には違ひないが、より以上いざ鎌倉の場合吾々には不可避な、神秘的民族的な、如何なる風雲をも突き破るべく進んで民族の名に於ても、泥流に身をゆだね、歴史に殉ずる血で約束されたものがある。それが肉體的な重苦しい實感ともなり、逞しい戰鬪力生命力に成る事を知つてゐる。

時代意識も、歴史的必然性も、世態の矛盾も、利潤の追及も、國家戰鬪力も、そして人間社會、國家、民族、家族、これら凡てに、世代の若い思案は、激しい反省と不逞な懷疑と消極的な反逆精神で、割り切らうともがきもがいて、中秋の名月無風帶に一夜一夜と、生命の彈みを、吾と吾が胸に計つてゐる。

『掘り出し、鍛へ上げ、讃ふべきは、新しき金屬性の野性なのだ』と或る友は昂然と語り教へてくれたか…。

『死線を越えろ』からもぢつて、男がする時は五錢白銅の穴に、糸を通して千人針に縫ひつける。そんな、新聞記事をみた晩、早速吉野町で、何かしらワク〳〵する落着かない手先を持ちだして「五錢玉で男がするの…知つてゐる…』膝小僧を丸るくのぞかせてゐる千人針持つ女の子にきくと、うふんと輕くうなづいて、私には布と針を、自分はうしろ向きになつて小ちやな下駄で石ころを蹴り初めた。流石私もテレ具合よろしく、ボッチリ〳〵と堅へ、通し、縫ひ初める。

「縫ひつけるんですの…」通りかゞりの若い奥さんが、笑ひながら手を差出し、器用に三筋に縫ひつけてくれた。益々以て面目もない。吉野町の千人針褌を、くゞり拔け通り越して、上氣した體の輕さが始末に負へず逢ふ友毎に「おい千人針をやつたぞ…」子供の頃の誇張したゼクチュアーを發散し、實に浮つぽい他愛なさである。

その晩、北支へ、志願運轉手に應募して、出發する或る友人を送るべく驛に行つた。

その前日、永樂町で逢つたとき、「愈々行つてくるよ、北支へ、これでね……これになつて歸つてくるだらうよ…」と、兩手で大きくハンドルをもつ形をし、少さく、掌をつけてくぼませ、ハバハと白いローマ鼻を赤らめて、笑ひ、自分自身に言ひ含める如く話してくれた。

カーキ服。軍帽。腕章。統制一色の服裝で、驛前廣場にうづくまつてゐた。

別れの言葉。激勵の言葉。慰める言葉。いろとりどりの人間の言葉と、驛前の雜音と、この集團の面貌とが、醸し出す雰圍氣の或る部分が、驛正面の時計針が、コックリ、コックと刻む度に、ギシ〳〵音立てゝ私の五官にもぐり込み、腹の底の方で、ジーンと醱酵するのが、衝動として、ひそかに感ぜられた。

プラットホームに入つて、十時三〇分發の汽車に乘り終ると、遠く近くある私の心にゝ鈴がぶらさがつて、平靜にと落着いた、とりすました氣持で、周圍の人達の表の顏と裏の顏を眺めさせた。

上衣を捨てゝ、お守りを汗のシャツにぶらさげてゐるひと。殊勝に頭を下げて低く、低く何か頼んでゐるひと。醉ひ調子でしゃべりまくるひと……電氣時計だけが…白い板と黑い數字……動中靜の風雲の中で、ひそかに微笑み、そして無表情だつた。

「コラッ、小輩、ニーデのお父つあんにもよろしく言つて置くぞ……ハハハ……。俺はこれだ。四〇番と書いてあるんぢやない。ズウーラ、と呼ぶんだ。」と元氣で、腕章をたしきながら「頼むぞ、みんな、行つてくるからな…」一自分の怒鳴り散らす力で、元氣をつけてゐる、かなしき醉ひどれ調子の言葉が、切々と喧噪の底にうもれて消えた。

萬歳、萬歳の聲に驛頭はゆるぎ、小旗、ハンクチは打振られたけれども、××君萬歳と云ふ、××君の聲が一つもきかれなかつたのが、何故か、と、歸り途私の胸の中で、言葉の意味だ、飛躍し、深々と沈澱して、今消え去つた夜行列車の灯を、ひそかに追ふ私の心をあながち一片の感傷として、ちぎり捨てられないものがあつた。

北海道の母から、たどたどしい筆で、

『出征なさる御方を、御見送りに婦人會より行き、威氣ある見送りで軍歌も、大分上手になりました。

青年方は、丸く出征者を取りまき、樂隊が合せ、住吉サンの神主が、おみくぢ引いて申すには、いつも日本は勝ち〳〵と云つて手をはたき、日の丸の旗や扇などふり、天にかはりて不義をうの軍歌で、勇士方が出發なさいました』

と書いた手蹟が舞ひ込んで來てゐた。（三七・九・十九）

國都建設記念日

内山三柳

○

秋晴れに一萬人の聲を聞く式場を壓して終る合唱團

○

つゝましく提灯を持つ女學生はしやぐ兒の瞳に提灯の波を打つ

○

日滿の一德一心今日佳き日記念塔の如く榮えん國なるぞ

美術館が欲しい
第一回美術親話會（四）

榮厚　それから引續きまして各種美術（繪畫ばかりでなく）展覽會に就て工藝とか其他の特殊美術展に就ても

赤川　治廢後になると問題になるでせうか、沿線のと滿洲國人向のと二つの違つた方向があるので、特殊な展覽會に就てはどうでせう

池邊　併しそれは個人意思でやられたらどうにも仕方ありますまい

赤川　一部の人の享樂の展覽會はあつても構はないが連絡が問題でせう

筒井　博物館の特別陳列のやうなものですか

赤川　それもさうですが、いろいろダブつてゐるのがあり、それも連絡がないので分らない

池邊　民族展がやつてほしいですね

筒井　百貨店の催し物でいゝでせう

池邊　民族博物館があれば、そこに行けばいゝといふことになるか

今井　內地にあるいゝ展覽會をこちらに呼びたいですね

竹田　それは審査員に金をかけるより宣詔展などのとき帝展なり二科なり各派の代表的なものを五六枚づゝでもいゝから持つて來たがいゝ、活きた手本になる

榮厚　書畫、古銅器、陶器、古書籍、工業製品、彫刻品刺繍等の展覽會が出來ると思ひます、そしてそれ等は大部こちらにありますが、そんなものゝ展覽會をやる必要はありませうか

筒井　あるですね

奥村　私共は率直に申しますと羅さんあたりのものは一年に一回位はみせてもらひたいと思ひます

長谷川　日本の商工展に類するものでも產業部でなくてもいゝですかね

杉村　それとは意味が違つてゐます、古美術の方で經濟的の方面ではありません

長谷川　美術の奬勵に大した意味もなく民力刷興でもないから現在ではあまり必要がないんぢやないでせうか

奥村　現に新京に集つてゐる天下の名器古銅器など見せて戴きたいと思ひます

長谷川　滿洲國の現在としては、かういふものがあるといふ記錄的な催しとしてはいゝが、また愛玩的方面なら別だが、また進んだ後でいゝと思ふ

藤山　羅さんのものなど數回やられたが、それは隨分效果がありますね、愛玩熱をあふるのと啓發するのと

長谷川　民生部主催としてやつてゆくにはまだ早過ぎると思ひます

杉村　それや小さくやるのです、經費もいらないから唯滿洲國人の文化方面への指導といふことに就てゞす、純然たる日本人の頭ではいけません

長谷川　それぢや目的によつてゞすね、その展覽會か分れるのは、工藝展はいゝものか地方に出來てきてから一般にみせて戴くといゝと思ひます

池邊　展覽會の組織は誰が起草されますか

杉村　それは前の展覽會のものに追加して事務的に計つてゆきます

赤川　美術館が欲しいですがその資金の醵出についていゝ方法はありませんか

長谷川　學藝協會の計畫のときの考へでは滿洲國に內地方面からの寄附金があると想像したのです、現在では事變關係もあるのでどうですか

赤川　演劇や展覽會ばかりでなく多くの人か入るための宣詔美術館など出來たらいゝですね、協和會館には期待してゐましたが、あの邊り非常にせまいし

長谷川　少くとも五千人をいれる家が欲しい、日比谷の公會堂でも今はもうせまいさうだが、それほどでなくとも五千人程度のものがほしい

奥村　市で劇場をつくつてゐるんぢやないですか

筒井　市のその計畫は金の問題で流れるんぢやないですか

長谷川　何れにしてもこゝで出來なければ寄附を仰がなくちやなりますまい、市の劇場の計畫のは今のは千五百人位の小さなものでそれぢや記念公會堂の千七百人よりも小さい、どうしても展覽會も劇もやれるやうなのが出來なくちやいけませんね

赤川　差し當り來年の展覽會の會場ですが大經路小學校と協和會館を借りるとか、とに角二つに分けるのは困るですね

今井　研究所か美術學校は出來ませんかね

赤川　補助金に就ては考へてゐるが、造る計畫はありません、だが紡績金の問題です

今井　滿洲の美術に土地に即したものか出來ないといふのも研究所などの機關がないからで

赤川　民生部としては各民族別々のではなしに、一つの新らしいものを造るつもりでやつてゐるのです、日本人向きとか、滿人向きとかでなしに

榮厚　色々有難う御座いました（完）

國防献金川柳募集

時局多端の秋、國防献金の一端として又支那派遣皇軍將兵慰問の意味を以て左の通り國防献金川柳を募集致します

御賛同の上多數御投句下さいます様お願ひ申上げます

△課題　支那派遣皇軍慰問の句
△締切　十月五日着便（一人一句吐）
△献金　投句者は十錢（二錢切手五枚）献金封入のこと
△慰問　年句は「長春」誌及新聞に發表すると共に印刷となし國防婦人會を經て慰問袋に封入支那派遣將兵に川柳慰問をたす（献金領收は發表を以て代へます）
△宛先　新京八島通り四六 川柳國粹吟社「國防献金川柳」と表記せられたし

EBIOS Nature's richest source of Vitamin B Complex

[illegible]越藥學博士創製
[illegible]谷醫學博士監督

食慾不振＝疲勞・倦怠＝脚氣

いづれもヴィタミンB複合體が足りないために起る

仕事に興味なく能率が上らない

……などといふのはこの季節には特に多いものです。とりわけ、終日劇しい勞働を續けたり、机に向つて事務を執つて居られる方……に多く見受けられます。これは、體内にヴィタミンB複合體の補給が不足した一つの現れなのです。……ところが、エビオス錠をいつも連用されて居る方はかやうな倦怠氣分に陷ることなく、元氣一ぱいで過ごされてをります。――これによつて、不足したヴィタミンB複合體が充分に滿たされるからに外なりません。

ヴィタミンB複合體が不足する

このヴィタミンB複合體は疲勞素を排除させるにぜひ必要な成分です。又われ〳〵の健康を保つ上に、特に胃腸を丈夫にして食物を充分エネルギー化する上になくてはならない榮養素です。……然るに、われ〳〵は玄米からわざ〳〵この貴重な成分の含有部である胚芽や糠を除いた精白米を食べて居るため、自づとこのヴィタミンB複合體が不足がちとなります。しかもこの成分の消費量が活動の激しさに比例して増加しますから他からその必要量を補給しなければ身體の調子を上乘に保てないわけです。

脚氣の前驅症狀がたいへん多い

ヴィタミンB複合體が極度に缺乏すると脚氣に陷ります。この脚氣は近年麥酒酵母の普及によつて隨分少くなりましたが、それでも尚一年に百萬人以上の罹患者があると言はれます。而して、輕度又は中等度の缺乏症即ち脚氣の前驅症狀と言はれる胃腸の弛緩症―食慾の減退、消化不良、常習便秘―疲勞、倦怠に惱まされる人々はたいへん多く……何を措いてもヴィタミンB複合體の補給を必要とするわけで、この目的にいつもエビオス錠が賞用されます。

麥酒酵母は强力で經濟的な給源

あらゆる自然物中でヴィタミンB複合體の最も濃厚な集積物は麥酒酵母です。玄麥の中に含まれた貴重なヴィタミンB複合體は醸造工程中に悉く酵母自體に吸着するからで――この生酵母を低溫で乾燥處理したのがエビオス錠です。ヴィタミンBの力價がたいへん强いにかゝわらず副産的に出來るため經濟的なのが特徴で……近ごろ病弱者はもちろん、健康者特に劇務に携る方々が食慾不振や疲勞倦怠などに禍されず、仕事の能率を上げるため、各方面で旺んに愛用されてをります。

非常時には…能率が第一です

『忘れものよ…お父さん、お父さんの忘れんぼ』
『さう〳〵エビオスだつたね』
『これを服まないと、お父さんは、元氣がなくなつて氣むづかしくなるつてよ……お母さんが言つたわ』
『まさかね……』
『だから、お父さんに渡して朝の分を服んでいらつしやいつて……』
『この藥を服むと晩まで疲れないんだよ、どんどん働けて能率が上るからだよ……』

『慰問袋用には』
七〇錠(五十錢)[illegible]便になつて[illegible]ります

『麥酒酵母の躍進』……と題する小冊子及びエビオス錠見本は下記東京田邊商店あて御請求次第進呈します。

エビオス錠

三〇〇錠…一圓六十錢
一〇〇〇錠…四圓八十錢
粉末もあり

EB 318

戰死した兄の遺骨が會はす瞼の姉妹

別離十年！を繞ぐる宿命兒

新京大和通、橋本氏夫人

別離十年！上海戰線の華と散つた弟の靈が瞼の姉妹を引き合はし、遺骨を中に十年振りに妹とめぐり逢つた姉は夫出征の孤獨悲喜交錯のうちに亡き弟の遺骨を携へて、

奇しき縁

銃後の物語り

の吾が家(新京)に辿りついたといふ—海軍々死者奧野水兵を繞る秘話がある——(寫眞姉清子さんと戰死した奧野水兵)

この物語りの主は廿日午後一時廿分着列車で驛頭駐滿海軍部鈴木參謀長、林副官、五十嵐鄕軍分會長を初め國防婦人會、小學生等多數の出迎へを受けて凱旋した上海戰々死者奧野貞四郎水兵の遺骨を護つて歸京した故奧野水兵の實姉新京大和通り六九大和洋行方橋本武夫氏夫人キヨ子さんだ

キヨ子さんは早くから兩親を失ひたゞ一人の妹美代子さんが四歳のとき遂に鄕里で東西に別れ美代子さんは北海道瀧川町の某家に養女となつた、その後貞四郎君は海軍に志願兵として入營したが美代子さんとの消息はプッツリ絶たれてゐた、本年八月十三日キヨ子さんは橋本武夫君が滿炭へ就職するので共に來京したところ武夫君は、二十二日突然召集令を受けて鄕里に向つて出發し殘されたキヨ子さんは身のふり方を思案中廿五日上海に出征した弟貞四郎君の悲報に接し貞四郎君が戸主のため奧野家の遺族としてキヨ子さんは遺骨受取りのため新京を立つて橫須賀に向つた、一方養女となつた美代子さんは

兄貞四郎君が八月十九日正午頃上海公平路附近を南下の優勢なる敵が我が守備線を潰斷せんとしたに對し、裝甲車の後方に續いて先頭に立つてよく敵を防ぎ之を後退せしめたが不幸身に敵彈を浴びて遂に廿日午後二時頃戰死したとの悲報を新聞で知り瞼の兄の勇壯な戰ひを想像し乍らも幼な心に「姉さんは橫須賀の合同慰靈祭にきつと行くだらう」と考へて橫須賀市役所兵事係氣付で

「私はまだ見ぬ姉さんを毎日懷しく〳〵慕つてゐますが兄さんの戰死を聞いてこの手紙を出します……」と最後に「まだしらぬ兄の姿のかはりたる、しろふくすがたを見るかなしさ」と記した手紙を出したが情けある養父の計らひで瞼の兄に死の對面することを許されて橫須賀に來て二十年振りで姉と逢ひ姉妹はともに貞四郎君の冥福を祈つた

夫の出征送り 弟の遺骨迎ふ

『弟は幸福だと信じます』と 靈前に淸子さんは語る

故奧野貞四郎君の遺骨を護つて二十日新京に歸着した橋本夫人キヨ子さんを日本橋通り大和洋行の二階に訪へば、靈前に畏くも天皇陛下よりの祭粢料を初め駐滿海軍部、國防婦人會の花輪を供へ故人の靈を祀つてゐたが左の如く語る

新京に到着して間もなくまだ夫の職も決らないうちに夫は召集され弟は名譽の戰死を遂げました、弟は實に姉思ひでよく手紙をよこしましたが最後の手紙は何となくもう逢はれないだらうといふやうなことが書いてありました、死の豫感とでも言ふのでせう、たゞ一人の妹と橫須賀で逢へるでは夢にも老へてゐませんで

した、弟の靈が逢はせたのでせう、妾は今後どうするかは之からよく考へてから決める積りで御座いますが十六日の橫須賀の慰靈祭の盛大さ、橫須賀から兵士さんが下關まで態々送つて下さつたこと、朝鮮から滿洲にかけての鐵道沿線各地の盛大な出迎へなどを考へますとほんとに弟は幸福だと信じます、新京に着いてからも國防婦人會などの御厚意など實にもつたいないやうな氣が致します

日本の底力を列國に見せたい

高瀨國際觀光局事務官談

日本國際觀光局事務官高瀨傳氏は二十日午後六時三十五分着(延着)あじあで來京、ヤマトホテルに投宿したが、氏は語る

滿洲は始めてゞす、今回の旅行は單に視察旅行であつて他に何等用件は帶びてゐない、三年後のオリンピック大會を目指して政府當局を始め大會委員會、その他各關係方面でも準備をすゝめてゐるし、觀光局では日本を世界紹介の好機會であるから全力を注いで準備をやつてゐます、一時大會中止說が一部に傳へられたが何かの誤傳であつたことも判明した、オリンピックのお祭り騷ぎだけでなく日本は皇紀二千六百年祭を慶祝する意味においもどうしても大會は東京で開かなければならぬ、そして日本の底力のある處を列國に見せなければならぬと思ふ

なほ同氏は一泊の上廿一日午後六時三十分發あじあでハルピンへ向ひ出發の豫定である

北支金融基礎工作は箝口令

靑木對滿事務局次長談

靑木對滿事務局次長は田中經濟部金融司長、鷲尾前中銀理事等とゝもに北支金融基礎工作の旅を終へ廿日午後二時新京驛着列車で鷲尾氏とゝもに着京、ヤマトホテルに入つたが、記者の質問に對し次の如く答へた

問　北支御滯在は何日でしたか
答　約二週間だ
問　金融基礎工作はうまく行きましたか
答　箝口令を布かれてゐるから何もいふ譯に行かぬが、唯決して失望すべき狀態ではないとだけ答へておかう

なほ同氏は廿一日飛行機で東京へ向ふ豫定である

日滿間の航空

更に二十分間を短縮實施す

日本航空十月一日から

日本航空會社は本年六月純國産中島式八人乘AT型の優秀機を以つて新京東京間九時間連絡の超特急航空を開始して以來日滿兩國都間の距離を極度に短縮し政治上將又經濟上に非常なる利便を齎し各方面に絶讚を博し利用者は上下便とも毎航滿員をつづけてゐるに鑑み旅客に更に一層の利便を圖るため十月一日の時間改正を期し上下便とも從來より更に各廿分づつ短縮することゝなり目下準備を整へてゐる

敷島高女運動會

廿三日擧行

敷島高等女學校では二十三日秋季皇靈祭當日午前九時から秋季大運動會を開催する、同校では運動場の設備も漸く完成し、滿鐵運動界の重鎭である大浦新校長を迎へて始めての運動會で生徒も職員もダンス、體操、競技など連日の猛練習を續けてゐる、なほ雨天の際は二十五日に延期の豫定である

野犬狩りに不注意な飼主

きのふから勝手な申出は拒否

嚴重狂犬豫防週間

既報、附屬地接壤地帶一齊に實施する狂犬病の豫防は、愈よ廿日より向ふ一週間に亘つて實施、週間中は續いて野犬狩を行ふこととなり新京に於ても第一日二十日よりどしどし野犬の捕獲を實施したが、週間中畜犬は繫留することに規定せられてゐるに拘らず第一日にして早くもこれを怠り捕獲された飼主多數當局に返却を願出るものもあつたが、當局では勝手の申出と斷乎拒否し第二日よりかゝる不都合なきやう畜犬の繫留を要望した

尚ほ廿四、廿五の二日間は午後一時より三時の間滿鐵消防隊に於て豫防注射を實施し後日注射實施の有無を嚴重調査の上これを怠つた者ある場合は發見次第嚴重處罰する方針であり、飼犬家には充分の注意が望まれてゐる

列車から落死

二十日午後一時二十分新京着急行列車の久保機關士が大屯、范家屯間に一滿洲人男(推定年齡廿五、六才百姓風)が沿路路上に橫はつてゐるのを發見急停車して檢べると頭部に重傷を負ひ人事不省に陷つてゐるので同列車に收容し滿鐵新京醫院に擔ぎ込んだが同二時死亡した、右は四平街、南新京間の切符を所持してゐる點から午後一時五分南列車で來京の途中振り落されたものらしい、原籍住所氏名不詳

問　鮮銀券の問題はどうです
答　それも箝口令だ
問　察南銀行が滿洲國幣にリンクするのと異り結局北支の銀行は支那法幣にリンクするのですか
答　さういふことをいふ人もある樣だね
問　天津の海關問題はどうです
答　それも箝口令中だがよい見透しは得てゐるとだけお答へしよう
問　一般の狀況はどうでした
答　北平、天津ともに極めて平靜で戰爭は何處吹く風かといつた狀態だつた、金融狀況も漸次良好に赴きつゝある
問　通州へはお出でになりましたか
答　行かなかつた
問　もう一度北支へお出でになりますか
答　ぜられるのでせう、結局北支へ轉ぜられるのでせう東京へ歸つた上で決定するだらう

井戸の中から

銃彈百六十四發々見

二十日平治街李方で

二十日午前九時頃特別市平治街一六番地李朝春(四六)が自家の附近にある共同井戸に水を汲みに行つたところ深さ四十尺の同井戸のつるべに彈藥帶が引つ掛つてゐるのを發見驚いて調べてみたところ、モーゼル彈八十九發が入つてゐたので此の旨早速大經路署に屆け出でた、大經路署では本廳に一件を報告、彈丸の出所その他につき目下嚴重取調べ中である

松澤課長來京

朝鮮總督府外事課長松澤龍雄氏は二十日午後一時二十分着列車で在京各關係個所に就任挨拶のため來京ヤマトホテルに投宿した【寫眞は松澤氏】

客馬車檢査

首都警察廳保安科交通股では廿日より大同公園前空地で管下客用馬車の檢査を開始した

運轉手募集

新京特別市公署にては今回乘用自動車日人運轉手二名を募集するが希望者は自筆履歷書持參二十五日まで市公署人事股へ出頭され度と

浮川竹の歸らぬ人に注ぐ情の慰靈

廿日大新京料理店組合が

既報、花街佳話として注目されてゐた大新京料理店組合主催の組合創設以來三十有餘年間に亘り異鄕の苦界にはかなくも散つた女性の靈を慰めんとする組合藝酌婦及び從業員慰靈祭は祝町太子堂で二十日午後擧行した

祭場には來賓として新京署永田保安主任以下保安係員及び主催者側役員以下全從業者の姐さん達約六百名にぎつしりと埋り市內寺院僧侶の着席によつて午後三時より開始、組合長楠野權一氏の慰靈の辭、讀經及び參列者の燒香あつて約四十分後嚴肅裡に閉式した、尚閉式後も留守番のため式に參列出來なかつた人々の自由參拜あり太子堂の午後は香煙檬々としてうるはしい情景を點出した

新京分會長星野操さんを訪問關東軍恤兵金にと金百圓を、又國防會館建設費にと金五十圓の獻金を申込んだので、星野夫人は感激してこれを受領直ちに右獻金を關東軍に持參した

張大臣夫人恤兵獻金

司法部大臣張煥相氏夫人黃東菊さんは廿日午前國防婦人會

市立醫院の訓練

赤木氏を講師に非常時色

國家總動員の非常時に備へて新京市立醫院では銃後の護りに萬全を期すべく十九日午後三時より廿日午前七時に亘つて修養一夜演習を實施、關屋特別市副市長、山口醫院長等出席のもとに滿州修養團本部常務理事赤木峰氏を講師とし桑名事務長以下職員七十數名參加して心身訓練の演習を行つたが全員緊張裡に多大の効果を收めた(寫眞は職員の合同體操)

冬季煤煙對策

先づ第一回防止委員會開催

廿四日特別市公署で

朝夕ひんやりと冷氣は膚に快くなつて來た今日此頃、又しても來るべき嚴冬に問題となる國都の煤煙が頭痛の種となつてゐるが、煤煙防止委員會では逸早くこれが對策協議のため二十四日特別市公署財務處長室に於て鯉沼幹事長以下役員參集して第一回會議を開き今年度の煤煙防止方針對策を樹てることとなつた

初陣京商の追擊も後半振はず惜敗

聲援物凄き混戰を見せた

準硬式野球六日目

本社主催運動具店三協後援の準硬球野球大會第六日電々對新京商業戰は廿日午後四時半より西公園球場にて津田(球)橋本、藤田、井出(壘)四氏審判のもとに電々の先攻で開始された、初陣京商五百の應援團の割るゝばかりの聲援に試合は活氣づき兩軍攻擊陣を敷き長打をはなち混戰を續け電々先取すれば弱冠京商必死の意氣もの凄くこれを追ひ四回五回と逐次差を縮めたが後半振はず八回電々の攻擊に走者千葉二壘にある時江木の左越長打本球最初のホームランとなり二點を入れ更に九回に電々一點を加へ十二對八で京商が惜敗した

スコアー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
電々	2	1	0	6	0	0	0	2	1	12
京商	0	1	1	4	2	0	0	0	0	8

メンバー
電々　本(遊)、葉川(中)、笠八(左)、倉本(二)、藤谷(右)、口井(捕)、村千(一)、田衣(投)、中川、須中、白三
京商　山岡、口隅、幡藤、藤地、村秋、吉鎚、木佐、内菊、中遊、二捕、三一、投右、中左

硬球美技續出

二十日の準優勝ダブルス

新日ハンデートーナメント

新日ハンデキャップトーナメント第三日は二十日午後四時半より中銀コートに於てダブルスが行はれ一回戰、二回戰に勝殘つた强豪同志の力戰に美技續出、硬球のもつ醍醐味に觀衆を魅了し左の成績で小佐々、石橋組と江口、藤川組が準優勝した

(大沖　竹)4—6　(江口　藤川)
(李成綱　馮元淸)6—2　(國友　增田)
(小佐々　石橋)6—0　(李成綱　馮元淸)
(小佐々　石橋)6—2

なほ二十一、二十二日はシングル二、三回戰が行はれ二十三日シングル、ダブルス兩優勝戰が擧行される

けふの試合

野球　午後四時半　西公園球場　保稅—纖業　俱樂部—開發
庭球　午後四時半　中銀コート　シングル

十九日大同公園で催された滿洲軍用犬協會新京支部主催の訓練競技會に愛犬サリー號を率いて出場した三田組平井氏夫人は當日の紅一點として數千觀衆の注視の的となつたが▼さすがの猛犬も同夫人の命令一下人形をあやつる如く自由自在その鮮やかな訓練振りには齊しく驚嘆の聲を放つた▼中でも委員席に控へた鄭支部長の喜びは大したもの〃全く本職の訓練士はだしですね、家庭訓練もこゝまでゆけば大したものだ、愛犬家にとつてはよき模範でその效果正に百パーセントです〃とこれまた訓練以上に鮮やか日本語で感嘆してゐる

けふの天氣　北の風晴
日の出　前六時二四分
日の入　後六時四分
月の出　後六時四一分
月の入　前七時五分
きのふの氣溫　最高二六度二　最低一〇度五

義人長七郎

（舞上演映畫化）中川雨之助　竹枝一郎畫

（四十九）

兩國の易者（四）

「小癪な。手向ひするか」

龍吉は、十手を高く振り上げました。ほんたうに毆りつけさうな勢ひです。

そいつを一つ受けようものなら、それこそたまつたものぢやありません。お銀の玉の肌は、肉が破れて血が吹くでせう。

「待てッ」

龍吉の後ろで、止めたものがあります。

そして精一ぱい振り上げた右の手が、ギユツと摑まれてしまひました。

振り返つた龍吉の目の前に編笠の立派なお士が立つてゐるのです。

「おつと、勘違ひしちやいけねえ。喧嘩たあ違ふんだぜ」といひながら、足が目にはいらないかと云はぬ許かりに、龍吉は、やたらに十手を振り廻すのです、が、取られた手は、まだ放れません。

「喧嘩で無くば、叶はぬ戀の遺恨晴らしか、それでは十手が夜泣きをするぞ」

お銀の口眞似をする、懸戯さうな士です。

「アッ、若樣！」

お銀の目の色が變りました。

その士は長七郎だつたのです。

長七郎は、今日のこの上天氣に屋敷に燻つてゐても始まらないとお氣に入の家來、島居孫兵衞をつれ、例に依つて主從二人連、兩國見物に、やつて來たのでした。

そして、何氣なく、垢離場の近くにさしかゝると、えらい人群りがしてゐるから、何事だらうと覗いてみると、巾着切の市松のことで、お銀と、目明し龍吉とが、互に負けず劣らず、鎬を削つてゐたので、驚きました。

「だが長七郎は、いつかお銀のはなしで、龍吉が、役目を笠に、煩さく付き纏つて困る、といふことを聞いてゐたから、そこで、龍吉を捉へ（たわけなのです。）」

「ヤイ〱聽も聞かねえで、だしぬけに、何をしやがるんだ。見得や態みに、十手を振り廻すんぢやねえ、惡くすると、爲にならねえぞッ」

長七郎殿が、こんな姿で、こんな處へ現れやうなぞとは夢にも思ひません。龍吉は、只だ通りすがりの田舍士かなにかが、物好き半分に、留めたものだと思つてゐます。

「はゝゝ、其方は二タ言めには十手十手と、威張り居るが、あまり十手を守本尊にし過ぎると爲にならないぞ」

長七郎は、容易に手を離しません。

だん〱喧嘩が面白くなつて來たので、群衆は、いづれも固唾を呑んでゐます。

「オヤ、其方だと吐しやがつたな、大名ぢやあるめえし横柄な口を利きやアがる。放せといつたら放さねえか……アッ痛々々……」

龍吉が、もがけばもがく程、一層強く、腕を捻上げられるのです。

「上の御用を承はる、目明しが御用を笠に、繊弱き女を苦しめるとは何事だ。秩父の龍吉とは、その方であらう、足元の明るいうちにサッサと立ち去れ」

龍吉は、よつぽど血のめぐりの悪い男です。こんなに言はれてもまだそれと氣が付きません。

長七郎に突き放されても、去らうとはせず、おまけに長七郎と、切支丹浪人の軍平と、取違へてしまつたのです。

「ヤイお銀！」

彼はお銀に喰つてかゝりました。

「てめえ近頃、變な浪人者を、家へ引ずり込んで、トチ狂つてゐるさうだが、おほかた此奴が、その浪人だらう」

飛んでもないことを、大勢の人の前で言ひ出され、お銀は困つてしまひました。」